

社会福祉法人 丹波市社会福祉協議会
平成30年度事業報告



目次

(総括) 法人運営事業 平成 30 年度の取り組み	1
■法人の運営状況	3
(1) 正副会長会	
(2) 理事会	
(3) 評議員会	
(4) 監査会	
(5) 介護保険事業等経営診断部会	
(6) 善意銀行運営委員会	
(7) 顕彰審査委員会	
(8) 地域福祉推進部会	
(9) 障がい者就労支援事業ネットワーク会議	
(10) 支所運営協力委員会 (各支所)	
(11) 福祉委員会 (各支所)	
(12) 丹波市地域福祉活動促進計画評価・検証委員会	
(13) 丹波市ボランティア・市民活動センター運営委員会	
■研修および研修生受け入れの状況	11
■丹波市地域福祉活動促進計画に沿った平成 30 年度の取り組み	12
基本目標 1 お互いを認めて育てる体制づくりをすすめます (認めあう)	
(1) 相互理解の推進	
①出張ふくし教室、出張介護教室の開催	
②広報紙『ふくしほっと通信』の発行	
③インターネット媒体の制作・運営	
④ふれあい・いきいきサロンへの活動支援	
⑤サマーボランティア体験教室の実施	
⑥障がい者就労支援事業 (ちゃれんじスペース) の運営	
(2) 福祉教育の推進	18
①福祉教育の実施を支援するための助成	
②福祉教育担当の先生のための福祉教育推進会議の開催	
③福祉用具・備品の貸出し	

- ④出張ふくし教室、出張介護教室の開催（再掲）
- ⑤丹波市ファミリーサポートセンターの運営
- ⑥崇広アフタースクール・新井アフタースクールの運営
- ⑦おもちゃライブラリーへの助成
- ⑧市内保育園・認定こども園への助成

（３）ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 20

- ①丹波市福祉送迎サービス事業（おでかけサポート）

（４）権利擁護の推進 20

- ①日常生活自立支援事業
- ②障がい者相談支援事業

基本目標２ 支え合いを大切にしたい地域づくりをすすめます（支えあう） 22

（１）地域福祉のネットワークづくり

- ①心配ごと相談所の開設
- ②無料法律相談所の開設
- ③地域福祉推進支援事業による地域福祉活動支援
- ④出張ふくし教室・出張介護教室の開催を通じた自治会等への実施啓発（再掲）
- ⑤生活支援コーディネーターの配置と生活支援サービス体制の整備
 - ・丹波支えあい推進会議（第１層協議体）の開催状況
 - ・第２層協議体の設置状況
 - ・第２層協議体に対する社協からの事務支援の状況
 - ・その他会議参加等の状況
 - ・くらし応援隊養成講座受講者の状況
 - ・くらし応援隊養成講座開催状況
 - ・くらし応援隊登録者の町域別登録人数
 - ・よろずおせっかい支縁センター・よろずおせっかい相談所の開設
 - ・丹波市いきいき百歳体操サポーターポイント制度管理
- ⑥福祉バザーの開催

（２）地域福祉活動の人材の確保と育成の強化 27

- ①団体等の健全な発展及び育成を図るため団体等が行う社会福祉事業への助成
- ②福祉団体の事務支援および助成
- ③丹波市ボランティア・市民活動センターの運営
- ④丹波市ボランティア講演会の開催
- ⑤ボランティア養成講座の開催
 - 図書館サポーター養成講座

- カフェボランティア講座 ～地域で作るつどいの場～
- 趣味から創造する生きがいつくり講座
- 朗読ボランティア養成講座
- 手話奉仕員養成講座基礎課程
- 手話奉仕員養成講座入門課程

⑥介護職員初任者研修会の開催

(3) 各種団体との情報交換や連携の強化 33

- ①ボランティアまつり開催経費の助成
- ②生活支援サービス体制の整備（再掲）

(4) 利用者本位のサービス提供 33

- ①広報紙『ふくしほっと通信』の発行（再掲）
- ②インターネット媒体の制作・運営（再掲）
- ③社協コーナーの活用
- ④点字・声の広報発行事業
- ⑤相談支援機能の充実（心配ごと相談、無料法律相談）（再掲）

(5) 生活困窮者や就職困難者等に対する自立支援 34

- ①日常生活自立支援事業（再掲）
- ②生活福祉資金の貸付
- ③福祉資金の貸付
- ④物品援助事業
- ⑤平成30年7月豪雨災害に伴う見舞金
- ⑥生活困窮者自立支援事業への対応
- ⑦たんば子ども食堂事業
- ⑧自立生活応援事業

基本目標3 つながりが生みだす豊かな暮らしをめざします（つながる） 36

(1) 防災・減災など安心した地域づくりの推進

- ①災害ボランティア支援事業
- ②市民、社協職員による被災地支援
- ③在宅寝たきり者世帯への歳末見舞品の贈呈
- ④火災等見舞金の支給
- ⑤独居高齢者に対する書状製作・発送

(2) 地域ぐるみの健康づくりの推進 37

- ①ふれあい・いきいきサロンへの活動支援（再掲）

- ②ストップ！要介護助成事業
- ③いきいき百歳体操の運営支援

（３）丹波市ボランティア・市民活動センターの充実強化

39

- ①ボランティアグループに対する活動助成
- ②ボランティア活動保険加入手続き事務
- ③ボランティア活動に対する表彰推薦
- ④ボランティアコーディネート（再掲）
- ⑤ボランティア養成講座の開催（再掲）
- ⑥サマーボランティア体験教室の開催（再掲）

（４）市民の活動拠点の整備

40

- ①よろずおせっかい支縁センター・よろずおせっかい相談所の開設（再掲）
- ②出張ふくし教室・出張介護教室の開催（再掲）
- ③地域福祉活動支援事業による地域福祉活動支援（再掲）
- ④福祉のまちづくり交付金交付事業

（５）虐待防止への取り組みの推進

40

- ①よろずおせっかい支縁センター・よろずおせっかい相談所の開設（再掲）
- ②日常生活自立支援事業（再掲）
- ③心配ごと相談所の開設（再掲）
- ④無料法律相談の開設（再掲）

（総括）介護保険事業 平成 30 年度の取り組み

42

【高齢者介護サービス（委託事業を含む）】

42

- 指定居宅介護支援事業
- 指定訪問介護（介護予防訪問介護）事業
- 訪問型サービスA事業
- 指定通所介護（介護予防通所介護）事業
- 通所型サービスA事業
- 指定認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）事業
- 指定訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）事業
- 要介護（要支援）認定訪問調査事業
- 介護予防ケアプラン作成事業
- 生きがいデイサービス事業
- 元気アップ広場事業

【障がい者介護サービス（委託事業を含む）】

45

特定相談支援事業	
指定居宅介護事業	
指定同行援護事業	
移動支援事業	
基準該当生活介護（障がい者デイサービス）事業	
訪問入浴サービス事業	
高齢聴覚障がい者生きがいつくり事業	
【その他の事業等】	46
介護職員初任者研修（再掲）	
障がい者就労支援事業（再掲）	
障がい者相談支援事業（再掲）	
【平成 30 年度介護保険等事業実績集計表】	47

(総括) 法人運営事業 平成 30 年度の取り組み

1. 地域支えあい体制整備の促進

昨年度に引き続き、丹波市より受託している生活支援サービス体制事業を 3 名の地域支えあい推進員を中心に進めました。地区ごとの生活課題を話し合い、支えあい体制の構築を目指す「第 2 層」協議体設置地区数は、4 月以降 3 地区増加し、8 地区から 11 地区になりました。7 月末には丹波市全体としての第 1 層推進会議「丹波ささえあい推進会議」を開催し、意見の共有や研修を深めました。9 月には「地域支えあいフォーラム」を開催し、さわやか福祉財団理事長の講演、くらし応援隊員や第 2 層協議体の設立経緯などをパネルディスカッションで市民に広く啓発しました。社協各支所に対応している出張福祉教室などで、地区や自治会に対し啓発を行いました。

2. 地域に集いの場が広がる支援

ふれあい・いきいきサロンは丹波市内 226 ヲ所で開催されています。前年度末より 20 ヲ所増となっています。サロンに対する運営費として共同募金配分金を活用し、1 サロンあたり上限 4 万円の助成を行いました。いきいき百歳体操実施団体数は 3 月末時点で 126 ヲ所となり、前年度末より 31 ヲ所増となっています。平成 29 年度からいきいき百歳体操の備品購入費助成(ストップ！要介護助成事業)を実施しており、昨年度 28 ヲ所、今年度で 41 ヲ所、計 69 ヲ所に助成支援を行い、集いの場を広げました。

地区に対して福祉に関する助成を行う「地域福祉推進支援事業」は、3 月末時点で 24 地区から申請を受け、福祉講演会や集いの開催経費、第 2 層協議体の運営費などに活用されています。

今後、ますます地域に集いの場を作っていく必要があるため、各支所から出張福祉教室等で集いの場づくりの啓発を行いました。

3. ボランティアの育成と確保

地域における集いの場を増やしていくにあたり、その担い手を養成していくため、「カフェボランティア養成講座」をのべ 10 回開催し、のべ 193 名の参加を得ました。現在、さまざまな内容のコミュニティカフェが市内 24 ヲ所で運営されています。

今年度から各支所単位で「生きがづくり講座」を開催しました。自分の興味のある講座を受講していただき、今後の趣味や生きがづくりに役立て、ひいてはボランティア活動につなげようとするものです。各支所で企画した個性的な内容の講座にたくさんの応募がありました。

2 月にはポップアップホールにて「丹波市ボランティア講演会」を開催しました。気象予報士の蓬萊大介氏が災害とボランティア活動について講演し、非常にたくさんの市民に聴講いただき、災害時の対応について理解を深めました。

くらし応援隊養成講座は、地域の生活援助の有償サポーターとして平成 28 年度から養成を行っていますが、現在 59 名がふだんのくらしサポートセンターに登録して援助活動を行っています。今年度はのべ 8 回の講座を予定し、7 回開催しました。結果、11 名(うち男性 3 名)の登録がありました。

7月7日の大雨により、丹波市の要請を受け山南地域に丹波市災害ボランティアセンターを9日間設置しました。市内100名、市外127名のボランティアが駆け付け、29件の要請に対応していただきました。対応完了後、17日にセンターを閉鎖しました。

4. 介護保険事業所の健全な経営体制の強化

通所介護事業では、ケア記録システムの導入により業務改善を図り、新たな加算の取得に向けて検討を重ねました。また、福祉人材の確保を図るため、ハローワーク等と連携し、就職フェア等への積極的な参加、介護体験セミナーへの協力を行いました。

5. 職員自らが目指すべき職員像の意識付け

丹波市社協独自の研修会の開催や県社協等の講演会・研修会等に積極的に参加しました。また、職員自らが地域に出向き、その中で「地域の声を聴き、気づき、考え、伝え、行動する職員」を目指しています。

6. 東部地域包括支援センターの対応について

平成31年度開設予定の丹波市東部地域包括支援センターが受託できるよう情報を収集し、内部検討を重ね、見積入札の結果、受託が決定しました。4月1日の開設に向けて、人員の確保及び事業所の整備等を行いました。

■法人の運営状況

(1) 正副会長会（会長1名、副会長2名）

毎月1回定例会を開催し、進捗状況の報告とともに、今後の予定等について検討・協議しました。また、各支所の状況や課題も確認し、総合的な判断要素の確認も行いました。

開催日	場 所	主な内容
4/11	氷上健康福祉センター	正副会長への出席依頼、今後の日程確認
5/14		地域福祉活動促進計画報告、理事会への提案事項協議、丹波市との業務連携の確認
6/13		表彰等候補者の推薦、事業の進捗状況、評議員会案件協議
7/10		支所別正副会長会・役員介護保険事業所等への視察に関する日程確認、災害ボラセン運営状況報告
8/10		理事会への提案事項協議、平成30年7月豪雨災害の救援活動報告
9/7		理事会への提案事項、今後の日程確認、生きがいデイサービスについて
10/12		各種表彰等の推薦・受賞状況、平成30年7月豪雨災害に伴う見舞金の支給、地域福祉活動促進計画評価・検証
11/8		共同募金中間報告、介護保険事業所実地指導監査の結果報告、職員の海外研修報告
12/13		理事会等への提案事項、階層別研修
1/10		次期役員改選の日程等、職員募集状況、東部地域包括支援センターの受託準備状況
2/7		採用試験結果、理事会等への提案事項、第1層生活支援サービス推進会議、生きがいデイサービス閉所式、東部地域包括支援センター開所式、社協事業検討委員会の設置、民児協事務局三者協議
3/7		辞令交付式等の日程、第1層生活支援サービス推進会議、丹波市ボランティア協会の状況報告、民児協事務局三者協議

(2) 理事会（理事12名、監事2名）

社協の経営執行機関として、丹波市内の学識経験者、民生委員児童委員、福祉団体等で構成されています。

開催日	場 所	主な内容
5/29	氷上健康福祉センター	善意銀行運営状況報告、事業報告、一般会計決算

5/29	氷上健康福祉センター	訪問介護事業所運営規程・東部介護予防通所介護事業所運営規程・西部通所介護事業所運営規程の一部改正、第三者委員の承認、一般会計補正予算、新評議員候補者の選定、定時評議員会の開催
9/27		善意銀行運営状況報告、業務報告、一般会計補正予算の専決報告、訪問介護事業所指定居宅介護事業運営規程・訪問介護事業所指定同行援護事業運営規程の一部改正
12/20		善意銀行運営状況報告、業務報告、中間監査報告、要綱一部改正、規程・規則の一部改正
3/12		善意銀行運営状況報告、業務報告、要綱の一部改正 3 件、要綱の廃止 2 件、要綱制定 1 件、第 3 次補正予算専決報告、規則廃止 1 件、規程制定 1 件、規程・規則の一部改正 8 件、第 4 次補正予算、2019 年度事業計画案、予算案、定款一部変更、定時評議員会の開催

(3) 評議員会（評議員 25 名）

社協の重要事項の議決機関として、市内の福祉関係者、自治会関係者等幅広い層で構成されています。

開催日	場 所	主な内容
6/27	氷上健康福祉センター	善意銀行運営状況報告、事業報告、一般会計決算、一般会計補正予算
3/27	氷上健康福祉センター	善意銀行運営状況報告、2019 年度事業計画案、予算案、定款一部変更

(4) 監査会（監事 2 名）

理事の業務執行の状況及び法人の財産状況を監査する機関として位置付けられ、税理士などの学識経験者で構成されています。

開催日	場 所	主な内容
5/16	氷上健康福祉センター	平成 29 年度社会福祉法人丹波市社会福祉協議会事業内容及び理事等の業務執行並びに一般会計収支決算書、会計帳簿、関係書類、貸借対照表及び財産目録などを監査

11/29	氷上健康福祉センター	平成 30 年度社会福祉法人丹波市社会福祉協議会事業内容及び理事等の業務執行並びに一般会計収支決算書、会計帳簿、関係書類、貸借対照表及び財産目録などを監査
-------	------------	---

(5) 介護保険事業等経営診断部会 (部会員 6 名)

介護保険事業や障がい福祉サービス、相談支援事業などを所管し、事業の計画並びに推進について、調査研究及び審議を行いました。

開催日	場 所	主な内容
5/23	氷上健康福祉センター	平成 29 年度事業報告、決算報告、事業所運営規程の一部改正、一般会計補正予算
7/20		臨時職員の採用状況、介護保険事業所の運営、生きがいデイサービス事業の聞き取り調査結果
9/14		指定居宅介護及び指定同行援護事業運営規程の一部改正、生きがいデイサービス事業受託終了に向けた取組み、事業所実地指導結果
12/6		事業所運営規程の一部改正、丹波市東部地域包括支援センターの応札、生きがいデイサービス事業の受託終了、事業所実地指導結果
2/26		丹波市東部地域包括支援センター運營業務の委託契約、介護保険事業所等職員の処遇改善に関する手当支給要綱の一部改正、腰痛保護ベルト購入費用助成金交付要綱の制定、生きがいデイサービス利用者送迎業務委託要綱の廃止、被服貸与要綱の制定、一般会計補正予算の専決報告、被服貸与規則の廃止、丹波市東部地域包括支援センター指定介護予防支援事業運営規程の制定、東部通所介護事業所介護予防・生活支援サービス「通所型サービスA」運営規程の一部改正、経理規程の一部改正、定款の一部変更、一般会計補正予算、2019 年度事業計画案及び一般会計予算案、事業所実地指導結果

(6) 善意銀行運営委員会 (委員 6 名)

事業計画並びに運営に関する事項について、理事長の諮問に応じ、意見を具申する委員会です。3 回開催し、いずれもの協議事項も承認いただきました。

開催日	場 所	主な内容
5/23	氷上健康福祉センター	報告事項、善意銀行事業運営について協議
9/14		
12/6		
2/26		

(7) 顕彰審査委員会 (委員 6 名)

社会福祉の増進に寄与し、功労のあった者等を顕彰審査するために置かれている委員会です。

開催日	場 所	主な内容
9/14	氷上健康福祉センター	顕彰候補者の審査

(8) 地域福祉推進部会（部会員 6 名）

財政、調査企画、地域福祉・在宅福祉サービス、ボランティア等に関する事項について審議する部会です。活発に協議され、承認いただきました。

開催日	場 所	主な内容
5/23	氷上健康福祉センター	平成 29 年度事業報告・決算報告
9/14		生活支援サービス体制整備事業進捗状況、丹波市地域福祉活動促進計画評価・検証状況報告
12/6		平成 30 年度中間報告、要綱・規則・規程改正、丹波市地域福祉活動促進計画評価・検証状況報告
2/26		要綱改正、規程改正、就業規則改正、補正予算、2019 年度事業計画案および当初予算案

(9) 障がい者就労支援事業ネットワーク会議（構成員 11 名）

各就労支援事業所担当者・行政職員で構成され、事業所間の情報交換等を行います。

開催日	場 所	主な内容
4/19	ちゃれんじスペース	事業実績、研修会、啓発イベント、市役所内軽作業業務
6/21		事業実績、視察研修及び研修会、交流会、寄付金の使途、氷上総合グラウンド抜根除草作業事業業務
8/16		事業実績、視察研修及び研修会、交流会
10/5		事業実績、ちゃれんじスペース喫茶接客業務、交流会
12/19		事業実績、研修会、啓発イベント
2/28		事業実績、丹波市障害者就労支援事業に関する覚書、啓発イベント

(10) 支所運営協力委員会

社協各支所において、円滑な事業活動を進めるとともに、適正な運営を図るため、民生委員・児童委員、福祉委員会、ボランティア団体代表、地域代表、学識経験者で構成されています。

◆柏原支所（支所運営協力委員 10 名）

開催日	場 所	主な内容
6/13	柏原福祉センター	支所運営協力委員の委嘱について、平成 30 年度事業計画、社協会費、丹波市生活支援サービス体制整備事業近況報告
9/21	柏原福祉センター	丹波市生活支援サービス体制整備事業近況報告、柏原支所業務報告（6 月～9 月）、赤い羽根共同募金および福祉バザー協力依頼
3/4		丹波市生活支援サービス体制整備事業について、柏原支所業務報告（下半期）、平成 30 年度事業報告、2019 年度事業計画案、ホームヘルプセンターについて

◆氷上支所（支所運営協力委員 10 名）

開催日	場 所	主な内容
7/5	氷上健康福祉センター	平成 30 年度事業計画及び平成 29 年度氷上支所業務報告、会費の協力状況、介護保険事業実績、生活支援サービス体制整備事業進捗状況、サロン及び百歳体操実施状況、ストップ要介護助成申請状況
10/3		氷上支所業務報告、社協会費協力状況について、ストップ！要介護助成事業について、各種表彰受賞について、生活支援体制整備事業について、平成 30 年 7 月西日本豪雨災害における被災地支援報告、赤い羽根共同募金活動、福祉バザーの開催について
3/25		氷上支所業務報告、平成 30 年度法人・介護保険事業報告、2019 年度事業計画案、自由討議

◆青垣支所（支所運営協力委員 10 名）

開催日	場 所	主な内容
6/13	社協青垣支所	支所運営協力委員の委嘱について、平成 30 年度事業計画・業務報告・事業展開について 生活支援サービス体制整備事業について
9/19		業務報告、一般会費等集計報告、赤い羽根共同募金運動の協力について、福祉バザー開催の協力について
3/7		業務報告、社協会費及び赤い羽根共同募金の報告について、平成 30 年度事業報告について、次年度事業計画（案）について

◆春日支所（支所運営協力委員 10 名）

開催日	場 所	主な内容
6/21	春日福祉センター	支所運営協力委員の委嘱について、委員長並びに副委員長の選任について、介護保険事業所について、会費について、社協並びに春日支所の主な事業について、社協会費依頼について、生活支援サービス体制事業について
9/20	春日福祉センター	赤い羽根共同募金について（法人・街頭）、福祉バザーについて、生活支援体制整備事業について
3/6		平成 30 年度事業報告について、2019 年度事業予定について、生活支援サービスについて、丹波市東部地域包括支援センターの設置について、その他

◆山南支所（支所運営協力委員 10 名）

開催日	場 所	主な内容
6/15	山南福祉センター	委員の委嘱、平成 30 年度事業計画、生活支援サービス体制整備事業、社協会費及び赤い羽根共同募金
9/20		赤い羽根共同募金、福祉バザー、ボランティア祭
3/14		平成 30 年度事業報告、平成 30 年度会費・共同募金納入結果、生活支援サービス体制の進捗

◆市島支所（支所運営協力委員 10 名）

開催日	場 所	主な内容
6/20	市島農村環境改善センター	平成 29 年度業務報告、平成 30 年度事業計画 法人会費、賛助会費の依頼、福祉バザー、生活支援体制整備事業について
9/26		業務報告・赤い羽根共同募金（法人・街頭）運動・福祉バザーについて
3/6		業務報告、平成 30 年度事業報告、いちじま憩いの家（介護保険事業）について、生活支援サービス体制整備事業での各地区の取り組み状況

(11) 福祉委員会

各地域においての地域福祉の推進役であり、社協事業への協力をしていただいている福祉委員への委嘱や社協事業への協力依頼などを各支所域で行いました。

◆柏原支所（福祉委員 32 名）

開催日	場 所	主な内容
5/24	柏原福祉センター	平成 30 年度事業計画、福祉委員の役割、会費依頼、丹波市生活支援サービス体制整備事業近況報告
10/3		丹波市生活支援サービス体制整備事業近況報告、赤い羽根共同募金および福祉バザー協力依頼

◆氷上支所（福祉委員 87 名）

開催日	場 所	主な内容
6/1	氷上住民センター	平成 30 年度事業方針と事業計画、福祉委員の活動、支所運営協力委員の選出、福祉委員研修「助け合い体験ゲーム」他
10/12		福祉委員研修（講師：栗木剛氏）、赤い羽根共同募金運動について、福祉バザーの協力依頼について、講演会の開催について、その他

◆青垣支所（福祉委員 51 名）

開催日	場 所	主な内容
5/25	青垣住民センター	委嘱状の交付、平成 30 年度事業計画について、福祉委員の活動について、福祉委員研修（丹波市生活支援サービス体制整備事業について）
10/12		赤い羽根共同募金運動の実施について、福祉バザーの協力について 福祉委員研修「コミュニケーションと傾聴」他

◆春日支所（福祉委員 50 名）

開催日	場 所	主な内容
6/1	春日福祉センター	委嘱状の交付、福祉委員地区代表者・正副代表の報告、社協春日支所の主な行事について、生活支援サービス体制整備事業について、講演会「福祉委員の役割について」
9/18		介護事業所について、赤い羽根共同募金について（篤志・法人）、福祉バザーについて、福祉委員輪番制・役割について

◆山南支所（福祉委員 75名）

開催日	場 所	主な内容
5/29	山南福祉センター	福祉委員の委嘱、役員を選出、福祉委員の活動、生活支援サービス体制整備事業、平成30年度支所事業計画
10/11		共同募金運動、福祉バザー、ボランティア祭、南部地域包括支援センター

◆市島支所（福祉委員 61名）

開催日	場 所	主な内容
5/25	市島農村環境改善センター	福祉委員の委嘱・社協の事業・福祉委員の役割・福祉バザー・生活支援体制整備事業
9/25		赤い羽根共同募金運動・福祉バザー・委員研修「いいところ見つけていいところ活かす地域活動」

(12) 丹波市地域福祉活動促進計画評価・検証委員会（委員 10名）

平成27年11月に発行された丹波市地域福祉活動促進計画の進捗状況を検証する委員会を下記のとおり開催しました。

開催日	場 所	主な内容
10/10	氷上健康福祉センター	平成29年度施策視点評価（完了）

(13) 丹波市ボランティア・市民活動センター運営委員会（委員 12名）

今年度の委員改選に伴い、より幅広い職種や立場の方と意見交換を行うため、企業やNPO、各種団体、学校等から委員を選出し、意見交換を行いました。

開催日	場 所	主な内容
8/31	氷上健康福祉センター	委員会の目的と取り組みの目標について、丹波市のボランティアの動向について、意見交換（それぞれの立場から助け合い活動・地域での活動について）
3/25		平成30年度の事業報告、2019年度の事業計画、意見交換

■研修および研修生受け入れの状況

(1) 役員・職員等研修

法人運営、業務に必要な研修を企画し実施しました。

月 日	研修名	会 場	参加者
8/1・2	事業所等視察研修	柏原福祉センター、山南福祉センター	14
8/3	階層別研修（役員編）	氷上健康福祉センター	10
8/6	階層別研修（幹部職員編）		14
8/8	階層別研修（一般職員編）		25
3/1	広報研修（写真編）		10
3/4	広報研修（動画編）	氷上健康福祉センター	8
3/28	ホームページ更新講習会		9

(2) 専門分野研修

特に専門知識の習得や先進地視察など必要とされる研修に、担当職員が参加しました。

(3) 老人看護実習Ⅰ実習生の受け入れ

(丹波市立看護専門学校より3日間、延べ38名の受け入れ)

受入日	受け入れ先	受け入れ人数	実習生所属先
9/25～28	生きがいデイサービスセンター	12	丹波市立看護専門学校
10/2～10/5	生きがいデイサービスセンター	13	丹波市立看護専門学校
10/9～10/12	生きがいデイサービスセンター	13	丹波市立看護専門学校

(4) 小児看護学実習生の受け入れ

(丹波市立看護専門学校より4日間、延べ17名の受け入れ)

受入日	受け入れ先	受け入れ人数	実習生所属先
5/8	崇広アフタースクール	4	丹波市立看護専門学校
5/29		4	
6/19		5	
9/25		4	

■丹波市地域福祉活動促進計画に沿った平成30年度の取り組み (基本目標の推進方策と取り組み計画)

基本目標1 お互いを認めて育てる体制づくりをすすめます(認めあう)

近隣同士が親しくつきあい、互いに共感しあえる地域コミュニティを形成し、支えあう地域福祉のネットワークを構築していくためには、基本的人権を尊重し、多様性を認め受け入れる意識づくりや環境づくりを育むことが必要です。地域福祉への理解をすすめるため、福祉や人権に関する学習の充実はもちろん、隣近所が存在を認識しお互いに関心を持てる関係づくりを推進します。

(1) 相互理解の推進

支援の必要な方に関する正しい理解と認識を高め、市民の方に福祉に関心を持っていただくため、地域、職場、団体などあらゆる場での学習や啓発活動に取り組みます。

また、地域で高齢者や障がい者、子どもなど、多様な世代が気軽に集い交流できる場づくりを提供していきます。

①出張ふくし教室、出張介護教室の開催(60自治会等で開催し、1,597名の方が参加)

自治協議会(自治振興会)、自治会や企業、サロンなどの団体等を対象に、住民自らが地域の福祉課題について考える機会となるよう、要望により対応しました。

地 域	自治会名等	開催日	参加人数	教 室 の 内 容
柏原	東洋電機(株)	5/25	15	車いす体験他
	室谷自治会	6/1	13	5年先、10年先の地域づくり
	室谷自治会	7/1	13	5年先、10年先の地域づくり
	柏原自治協議会	7/26	25	10年後の暮らしを守る地域づくり
	東奥自治会	11/18	60	10年後の暮らしを守る地域づくり
	柏原自治協議会	3/7	46	地域ならではの支え合い 社協の事業
氷上	井中サロン	4/11	25	いつまでも健康で長生きするためには、頭の体操
	丹波市老人クラブ連合会氷上支部総会	5/9	60	これからの地域での支えあいについて、頭の体操
	絹山サロン	5/29	40	いつまでも健康で長生きするためには、タオル体操
	下油利サロン	6/6	13	いつまでも健康で長生きするためには、頭の体操
	生郷自治振興会	6/7	23	介護保険と生活支援、これからの地域での支え合いについて
	稲畑自治会(さなぶり会)	6/15	40	介護保険制度について、いつまでも健康で長生きするためには、頭の体操、詩吟

氷上	地頭自治会	7/8	25	これからの地域での支え合いについて
	稲畑自治会（敬老会）	9/17	40	いつまでも健康で長生きするためには、頭と口の体操
	TAMBA シニアカレッジ	10/19	100	支えあいでいつまでも元気に、介護が必要になったら
	生郷地区	10/21	23	住宅改修と福祉用具について、一緒に考えましょう
	北野自治会	10/28	23	これからの地域での支えあいについて、自分と自分の地域を見つめなおそう
	宮前区	11/25	10	介護が必要になったら、介護のちょっとマル得ポイント
	領町自治会	11/25	20	気づいていますか？目の前の超高齢化社会
	谷村自治会	1/13	37	これからの地域での支えあいについて
	田中サロン	1/27	25	これからの地域での支えあいについて、昭和クイズ・ゲーム
	横田サロン（横田葉月会）	3/6	20	地域福祉のおはなし、頭の体操
	新田サロン	3/17	16	地域での支えあいについて、ゲーム
青垣	更生保護女性会青垣支部	5/13	19	地域での支えあい、見守りについて、簡単なレク
	大名草ひだまりサロン	5/15	30	簡単なレクリエーション
	西芦田上り立サロン	5/20	12	介護予防について、簡単なレクリエーション
	芦田高齢者お昼のつどい	6/15	56	簡単なレクリエーション
	遠阪高齢者お昼のつどい	6/18	35	簡単なレクリエーション
	遠阪高齢者お昼のつどい	11/22	38	日頃の予防で健康長生き、頭の体操
	小稗ごとんぼサロン	12/8	25	介護の話、サロンについて
	西芦田上り立・中井サロン	3/25	22	簡単なレクリエーション
春日	上ゲ町自治会	4/5	33	健康づくり（健康的な食生活・認知症予防レクリエーション）
	春日部自治協議会（七日市自治会）	6/2	15	ケアマネによる介護保険の話
	春日部自治協議会（野上野サロン）	6/13	23	ケアマネによる介護保険の話
	春日部自治協議会	6/13	30	地域の困りごと座談会
	多田自治会	6/14	25	介護保険制度の今後について
	春日部自治協議会（七日市自治会）	6/16	13	地域の困りごと座談会
	平松ふれあいサロン	7/4	30	地域福祉の話、認知症予防レクリエーション

春日	七日市自治会	7/6	12	社協事業紹介、介護予防ゲーム、年代クイズ2
	多田自治会	7/12	20	社協事業紹介、介護予防ゲーム、年代クイズ2
	春日部自治協議会 (野上野サロン)	7/11	22	社協の紹介、昭和クイズ2、 認知症予防レクリエーション
	春日部自治協議会	7/11	25	社協の紹介、昭和クイズ2、 認知症予防レクリエーション
	船城地区民児協	7/19	11	ケアマネによる認知症の話、 認知症予防ゲーム、質疑応答
	春日部自治協議会 (野上野サロン)	7/25	22	地域の困りごと座談会
	春日部自治協議会	7/25	21	地域の困りごと座談会
	多田自治会	7/26	17	地域の困りごと座談会
	黒井地区民児協懇談会	9/6	25	介護サービス体験、質疑応答
	仲町自治会	1/26	11	認知症の話とこれからの地域 課題・認知症クイズ・予防レ クリエーション
山南	谷川3区いきいきサロン	7/23	17	脳活
	畑内よろこび会	7/25	19	脳活
	小川地区自治振興会	9/2	20	車椅子体験、アイマスク体験
	いきいきサロンむらもり	10/31	25	囲碁ボールの講習
市島	民生委員児童委員・協力委員 (竹田・前山)	6/16	30	認知症サポーター養成講座
	鴨阪いきいきサロン	6/17	17	地域の現状、介護予防、サロ ンについて、相談窓口
	上垣ふれあいの会	7/2	30	健康で長生きできる生活、脳 トレ
	喜多いきいきサロン	11/14	22	社協のお仕事、介護予防の話、 脳トレ
	南自治会	11/17	50	健康について、車いす体験、 アイマスク体験
	鴨阪いきいきサロン	2/17	23	認知症の対策や予防と対応
	与戸自治会	3/26	10	サロン運営について、サロン 内容紹介、簡単に行えるレク リエーションの紹介
	段宿・宮ノ下和光会	3/27	30	認知症の話、予防の体操

②広報紙『ふくしほっと通信』の発行（年6回）

市内各世帯や市役所などの関係機関などに対し配布しました。今年度は積極的につどいの場づくりなど地域活動の紹介を行いました。あわせて、市民の方によりわかりやすく、柔らかい文面でお伝えすることに努めました。

発行月	主な掲載内容
5月号 (第82号)	特集：社協の事業計画と予算 平成30年度からの新しい事業
7月号 (第83号)	特集：事業報告・決算報告、新役員紹介、ひきこもり支援NPO法人えん
9月号 (第84号)	特集：地域支えあいフォーラム、災害ボランティアセンター
11月号 (第85号)	特集：暮らし応援隊養成講座と地域づくり
1月号 (第86号)	特集：手話・朗読ボランティアグループ紹介
3月号 (第87号)	特集：丹波市ボランティア講演会

③インターネット媒体の制作・運営

今はネットの情報もスマートフォン等で閲覧することが当たり前になりつつあります。社協では、すぐに周知したい情報はフェイスブック、一定期間掲載すべき情報はホームページと分けて掲載しました。あわせて、ホームページリニューアルに向けて準備を行い、3月に公開しました。

④ふれあい・いきいきサロンへの活動支援

地域で取り組まれるサロンの運営及び活動を支援するため助成しました。

助成以外にも、各支所においてサロン活動のための資料提供や、運営助言などを行いました。

支所	助成件数	助成金額(円)
柏原	23	696,000
氷上	40	1,358,000
青垣	38	1,408,000
春日	33	1,171,000
山南	45	1,643,000
市島	35	1,199,000
合計	198	7,475,000

⑤サマーボランティア体験教室の実施(54回開催:延べ340名参加)

夏休みの期間中に児童・生徒達にボランティア体験をする機会を提供し、支え合いの心を育み少しでも福祉に関心が持てるよう、各支所で実施しました。

支所	開催日	参加者数	対象者	内容
柏原	8/22	8	小・中学生	ゆめっこ夏フェス2018(柏原子育て学習センター)事前準備・(当日手伝い台風の為中止)
	7/10	40	高校生	講演「ボランティア活動について」

				講師 あそび工房もくもく屋 田川雅規氏
柏原	7/23	1		アフタースクールでの活動
	24	8		
	25	5		
	26	7		
	27	3		
	30	3		
	31	5		
	8/1	5		
	3	5		
	6	2		
	7	5		
	8	8		
	9	7		
	10	7		
	16	4		
	21	5		
	22	2		
27	1			
28	1			
29	3			
氷上	7/23	2	中学生	こがやま児童館での活動
	24	2		西部デイサービスセンターでの活動
	24	1		こがやま児童館での活動
	25	2		西部デイサービスセンターでの活動
	25	1		
	27	2		
	30	2		こがやま児童館での活動
	31	2		
	8/3	2		
	6	2		
	7	2		
	7	2		西部デイサービスセンターでの活動
	8	2		こがやま児童館での活動
	8	2		西部デイサービスセンターでの活動
青垣	7/24	3	中学生	手話体験、ろうあ者との交流
	30	2		生きがいデイサービス利用者との交流

春日	7/25	14	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション（福祉とは、ボランティアって、赤い羽根共同募金、福祉マーク、障害者スポーツ体験） ・福祉体験（車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験） ・聞こえないってどういうこと ・手話を使って挨拶や自己紹介、会話の練習 ・ろうあ者との交流 【中学生ボランティア 延べ14名参加】
	8/1	14		
	8	11		
	22	13		
	29	11		
山南	8/18	17	中学生	山南地域内の高齢者施設（五輪荘）での、夏祭りの準備、ゲームコーナーの補助、屋台の補助、利用者の方々への配膳、会話等交流
市島	7/23	7	市島地域内の小・中学生	市島地域内の高齢者施設での軽作業や見守り等
	24	11		
	25	9		
	26	9		
	27	3		
	30	8		
	31	12		
	8/1	19		
	2	7		
	3	9		

⑥障がい者就労支援事業（ちゃれんじスペース）の運営

丹波市春日庁舎内に設置した活動拠点「ちゃれんじスペース」に、自主製品販売コーナー、喫茶、障がい者相談コーナーを設け、各事業所の自主製品販売支援や障がい者就労体験を行うとともに、隔月にネットワーク会議を実施し事業所代表者による情報交換の場を提供しました。また、作業場を設置し、各事業所から派遣される利用者が市役所内の軽作業に従事しました。

業務内容	実績額（円）	開設日数
自主製品の販売 （パン、手芸品、アクセサリ等）	836,450	150
喫茶	663,750	150
市役所内の軽作業	534,915	62

【ちゃれんじスペースふれあいまつり】

開催日	会場	主な内容	参加事業所
4/15	丹波市春日庁舎 市民ふれあい広場	障がい者就労支援事業所自主製品販売、屋台、アルミ缶回収、子どもの広場（移動動物、エア遊具）等	7事業所

(2) 福祉教育の推進

市内小・中学校が取り組む福祉学習において、相手のことを考えられる力の育成や福祉に関心を持つきっかけとなるよう、将来を担う子どもたちの福祉教育の推進に取り組みます。

①福祉教育の実施を支援するための助成

福祉教育助成事業（29校中28校へ、559,200円の助成）

市内の小・中学校が取り組む福祉教育を支援するため、1校あたり2万円を上限として助成しました。

②福祉教育担当の先生のための福祉教育推進会議の開催

市内の小・中学校が取り組まれている福祉教育をさらに充実できるよう、福祉教育担当の先生を対象に取り組みました。

開催日	対象	参加人数	内容
8/21	市内小中学校 福祉教育担当職員	27	講義「福祉学習を通じて子どもたちに伝えるべき大切なこと」

③福祉用具・備品の貸出し

突発的なケガなどにより歩行が一時的に困難な方や学校の福祉教育で使用を対象とした車いすの貸出や、ふれあい・いきいきサロンなどへのレクリエーション用具の貸出を行いました。

	本所	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計
車いす延べ貸出し数	13	33	93	42	46	37	30	294
レクリエーション用具延べ貸出し数	8	69	100	75	244	148	72	716
福祉体験用具延べ貸出し数	—	24	28	17	78	78	96	321

貸出回数の多いレクリエーション用具

	本所	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島
1位	エアーストーン	輪投げ	マジックナイン	釣りっこ	スカットボール	輪投げ	公式輪投げ
2位		モグラ七兄弟	スカットボール	ポケネット	サイコロ	パワーボーリング	ピッチャシ
3位		スカットボール	輪投げ、レインボーアンバランス	スカットボール	紅白玉入れ	ストライクボードセット	スカットボール

④出張ふくし教室、出張介護教室の開催(前述12ページ)

⑤丹波市ファミリーサポートセンターの運営

子どもを預けたい方、子どもを預かっていただける方が、それぞれセンターに登録し、アドバイザーが調整を行いました。

●講習会や研修会などの開催（3回開催：延べ86名参加）

開催日	名称	場所	参加者数
4/20	サブリーダー研修会	柏原福祉センター	6
6/8	ぽかぽか交流会		64
7/10	フォローアップ講習会		16
10/1	サブリーダー研修会		6
11/13	第1回 子育て支援講習会		13
20	第2回 子育て支援講習会		22
26	第3回 子育て支援講習会		8
12/17	クリスマス交流会		127
1/23	協力・両方会員交流会		13
2/19	AED講習会		16
3/11	ぽかぽか交流会		24

●登録会員数（3月末現在）

依頼会員	協力会員	両方会員	計
146	78	29	253

●活動実績

活動延べ回数	活動延べ時間
308回	407.5時間

⑥崇広アフタースクール・新井アフタースクールの運営

崇広小学校に在籍する1年生から6年生までの児童で、放課後、仕事の都合等で保護者のいないご家庭を対象に子育て支援として崇広アフタースクールを受託しています。

延べ利用者数	19,410
--------	--------

新井小学校に在籍する1年生から6年生までの児童で、放課後、仕事の都合等で保護者のいないご家庭を対象に子育て支援として新井アフタースクールを受託しています。

延べ利用者数	5,553
--------	-------

⑦おもちゃライブラリーへの助成

市内2ヶ所で組織されている「おもちゃライブラリー」への活動助成を行いました。

グループ名	助成額(円)
山南おもちゃライブラリーぴよんぴよん	15,000
かすがおもちゃライブラリーどりいむ	15,000

⑧市内保育園・認定こども園への助成

将来を担う園児の健やかな保育を支援するため、保育活動に使用する備品購入や地域との交流事業を目的として助成を行いました。

助成先	園児数	助成金額（円）
認定こども園ふたば	235	117,500
認定こども園いくさと	187	93,500
認定こども園ぬぬぎ	86	43,000
認定こども園さちよ	114	57,000
認定こども園あおがき	165	82,500
認定こども園かすが花の子園	183	91,500
認定こども園かすが森の子園	186	93,000
認定こども園みつみ	160	80,000
認定こども園わだ	150	75,000
認定こども園あいいくの丘	177	88,500
認定こども園いちじまこども園	173	85,752
合 計	1,816	907,252

（３）ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

すべての人が安全に円滑に利用できる「ユニバーサルデザイン」の考え方を基本に、高齢者や障がい者等の外出や社会参加を促進するため、社協では登録された方の希望に応じて、医療機関への通院、生活上必要な外出のための送迎を行います。

①丹波市福祉送迎サービス事業（おでかけサポート）（丹波市からの受託事業）

一定の要件を満たし、事業登録をされた方の希望に応じて、各エリア単位に配置しているコーディネーターが予約受付と運行調整を行いました。

登録者数	458名（要介護認定者65名、障がい者393名）
延べ利用者数	5,656名

（４）権利擁護の推進

高齢者や知的・精神障がい者等で判断能力が低下した方との契約に基づき、福祉サービスの利用を援助したり、日常生活における金銭管理を支援します。また、利用促進を図るため、本事業の周知に努めます。

①日常生活自立支援事業（兵庫県社協からの受託事業）

認知症や障害により、判断能力に不安がある方で、なおかつ、本人のサービス利用意思が確認できる方に対して、利用者の預金通帳や銀行等の届出印などの保管及び金銭管理、福祉サービスの利用手続きなどを行い、在宅で生活が続けられるよう支援をしました。

支 所	利用者(名)	H30 新規件数	H30 解約件数	生活支援員(名)
柏 原	9	3	1	3
氷 上	3	0	1	2
青 垣	2	0	1	2
春 日	7	2	0	2
山 南	0	0	0	2
市 島	2	0	0	2
合 計	23	5	3	13

②障がい者相談支援事業(丹波市からの受託事業)

障がいのある方やご家族の方を中心に相談支援を実施しています。相談支援専門員が各種福祉サービスの紹介、その利用方法、日々の心配事など生活全般の相談に応じました。

障がいの種別	知的	身体	精神	発達	高次脳機能	難病	その他	合計
実人数(名)	11	1	11	0	0	0	7	30
延べ回数(名)	107	3	38	0	0	0	27	175

【相談内容】

支援内容	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計
延べ人数(名)	18	9	6	8	1	4	2	0	3	1	1	6	59
延べ回数(名)	44	18	36	13	3	9	7	0	28	1	1	15	175

基本目標2 支えあいを大切にされた地域づくりをすすめます（支えあう）

市民一人ひとりがかけがえのない人間として尊厳を持って暮らし、市民をはじめ、地域の関係団体や事業者、丹波市などが協働し、日常的に地域で支えあうことを大切にされたまちを実現することが必要です。

地域で支援が必要な“困りごと”を持つ人を早期に発見し、その人らしく自立した生活を送ることができるよう、総合的な相談支援体制の早急な構築をすすめるとともに、そのための関係機関とのネットワークの確立を図り、適切なサービスや支援につなぐことができる地域づくりを推進します。

（1）地域福祉のネットワークづくり

市民の身近なところで相談を行っている民生委員・児童委員や民生・児童協力委員、福祉委員等の活動について普及・啓発を図り、相談しやすい環境を整備します。

また、地域福祉を一層推進していくため、自治協の「福祉部」と連携した上でその主体性を尊重しながら地域の実情にあった仕組みを共につくり、事業を実施し、自治会にも参考にしていただける地域福祉の向上につなげていきます。

介護保険制度改正による新たな介護予防・日常生活支援総合事業では、高齢者の日常生活の支援及び介護予防に係る体制整備を推進していくため、地域の支えあいによる生活支援・介護予防サービスの提供の構築に向けたコーディネート機能を果たすコーディネーターを配置し、生活支援サービス体制の整備を進めていきます。

①心配ごと相談所の開設

生活上の悩みごとなどについて、心配ごと相談員が助言を行い、必要に応じて関係機関へつなぎ、解決に向けた支援を行いました。柏原：12回3名、氷上：12回3名、青垣：12回8名、春日：12回11名、山南：12回9名、市島：12回10名

開設回数	72回
延べ相談者数	44名
主な相談内容	土地、財産関係、労働関係、生活困窮、職場の人間関係、家族間の問題、地域の困りごと、健康・病気について、離婚について、連帯保証人について、認知症について、将来の生活の不安について、投資に関するトラブル、人権法律、老人福祉、物品処分など

②無料法律相談所の開設

兵庫県弁護士会所属の弁護士による、法的な相談のアドバイスをを行いました。

開設回数	24回
延べ相談者数	135名

③地域福祉推進支援事業による地域福祉活動支援

地区を単位とした福祉活動を支援するため、計画段階からの相談や情報提供、福祉事業の提案や対象事業に対する助成金交付を行っています。

支 所	校区名	交付額 (円)	事業内容
柏 原	柏原自治協議会	177,346	お昼のつどい、地域生活を考える会議、災害に対応する訓練
	新井自治協議会	183,300	柏原自治協議体、いきいきサロン、子育て交流広場、お昼のつどい
氷 上	中央地区自治振興会	264,474	お昼のつどい、福祉講演会、子どもの居場所づくり
	葛野報徳自治振興会	241,000	福祉講演会、ミニサロン
	沼貫地区自治振興会	277,000	お昼のつどい、福祉講演会
	幸世自治振興会	300,000	お昼のつどい
青 垣	佐治地域自治協議会	90,000	お昼のつどい、グランドゴルフ（健康増進）
	芦田自治振興会	190,000	お昼のつどい、健康福祉教室
	一般財団法人神楽自治振興会	80,000	お昼のつどい
	遠阪自治協議会	300,000	お昼のつどい、いきいきサロン、囲碁大会（交流）
春 日	黒井地区自治協議会	300,000	いきいきサロン開設
	春日部地区自治協議会	238,608	百歳体操カフェ、ほぐし教室
	大路地区自治協議会	289,020	そろたん、ピタシ購入
	国領地区自治協議会	56,380	ピタシ購入
	船城地区自治協議会	200,000	避難訓練、子育て支援、お昼のつどい
山 南	上久下地域自治協議会	50,000	友愛訪問、見守り活動、備品購入
	久下自治振興会	40,000	小物づくり教室（交流）
	小川地区自治振興会	300,000	ノルディックウォーキング、地区ラジオ体操、健康ふれあいフェスタ、音楽イベント、グラウンドゴルフ大会、地区一斉防災訓練
	ふるさと和田振興会	208,000	子育て支援、いきいきサロン記念事業、福祉用具貸出用備品購入
市 島	竹田地区自治振興会	271,360	お昼のつどい、生活支援体制整備事業
	前山地区自治振興会	300,000	お昼のつどい、食育講座、交流サロン、花と緑の交流活動、出前サロン、健康増進活動
	吉見地区自治振興会	125,683	お昼のつどい、協議体会議運営
	鴨庄地区自治振興会	235,000	地域支えあい活動、ワイワイふれあい交流大会、お昼のつどい、いきいき百歳体操
	美和地区自治振興会	198,215	いきいきサロン、出張介護教室、お昼のつどい、介護者のつどい

④出張ふくし教室・出張介護教室の開催を通じた自治会等への実施啓発(前述 12 ページ)

⑤生活支援コーディネーターの配置と生活支援サービス体制の整備

引き続き地区単位の第 2 層協議体設置を進め、設置されている地区には、協議体の運営支援を行いました。第 1 層協議体「丹波支えあい推進会議」を 2 回開催しました。要介護認定の要支援 1,2 の方を中心とした家事援助サービスを提供する有償ボランティア「くらし応援隊」の養成、いきいき百歳体操の運営支援、ふだんのくらしサポートセンター(ふくサポ)の運営、よろずおせっかい支縁センターの運営等を行いました。

●丹波支えあい推進会議(第 1 層協議体)の開催状況

開催日	会場	内容
7/30	柏原福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 講演「協議体に期待されること」 さわやか福祉財団 高橋 望氏 丹波市生活支援サービス推進会議の役割について エリアごとのグループワーク
2/27	春日福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 前回会議報告、フォーラムアンケート集計結果報告 事業所の業務内容報告(シルバー人材センター、商工会、コープ柏原店) 丹波市内の移動支援施策の内容説明 移動支援についてのグループワーク 会議の愛称について 2019 年度地域支えあいフォーラムについて

●第 2 層協議体の設置状況

地域	第 2 層協議体名	設置時期	主なメンバー
柏原	柏原地域協議体	平成 30 年 8 月～	自治会長協議会、自治協議会、民生委員児童委員、一般住民
氷上	かどの地区生活支援サービス推進会議	平成 30 年 2 月～	自治会長、民生委員児童委員、民生・児童協力委員、自治振興会
春日	春日部地区支えあい組織づくり委員会	平成 28 年 12 月～	自治会長、民生委員児童委員、民生協力委員、福祉委員、公民館主事、くらし応援隊等
	大路地区地域福祉委員会	平成 30 年 7 月～	おおじ創生会議 地域福祉委員会
	黒井地区生活支援サービス推進会議	平成 30 年 1 月～	自治協議会、自治会長会、福祉委員、防犯協会、民生児童委員、更生保護女性会、いずみ会、老人クラブ連合会

市島	前山地区地域支えあい活動意見交換会	平成 29 年 3 月～	地区内の団体、前山地区自治振興会等
市島	竹田地区生活支援サービス推進会議	平成 29 年 8 月～	竹田地区自治振興会、自治会、民生委員児童委員、老人クラブ、あじさいの会等
	美和地区生活支援サービス推進会議	平成 29 年 9 月～	美和地区自治振興会、自治会、民生委員児童委員、民生児童協力委員、一般住民等
	吉見地区生活支援サービス推進会議	平成 29 年 9 月～	吉見地区自治振興会、自治会、民生委員児童委員、仲よし会、男女共同参画、介護保険事業所、有識者等
	鴨庄地区地域支援会議	平成 29 年 2 月～	自治振興会、自治会、民生委員児童委員、福祉委員、老人クラブ、福寿草の会、NPO 法人代表

●第 2 層協議体に対する社協からの事務支援の状況

第 2 層協議体の運営に関して、主に地域支えあい推進員が開催の相談、資料の提供、会議当日の支援、報告書の整理などを行いました。

●その他会議参加等の状況

開催日	会議等	場 所	内 容
12/7	多可町視察対応	春日福祉センター	丹波市での取組みを発表
2/28	丹波市自治会長会理事会	氷上住民センター	第 2 層協議体の必要性、自由懇談

●くらし応援隊養成講座受講者の状況

地 域	H28 男性	H28 女性	H29 男性	H29 女性	H30 男性	H30 女性	受講者計
柏 原	0	6	0	2	0	1	9
氷 上	1	16	2	10	0	4	33
青 垣	0	12	0	1	1	4	18
春 日	3	12	0	4	0	4	23
山 南	2	17	1	6	1	4	31
市 島	1	11	2	2	2	0	18
計	7	74	5	25	4	17	132

●くらし応援隊養成講座開催状況

要介護判定非該当、要支援 1, 2 の方および基本チェックリストに該当となった方に必要な家事援助サービスを行うくらし応援隊の養成を行いました。

開催日	場 所	内 容	参加者
6/11	春日支所	丹波市の現状、認知症サポーター養成講座、暮らし応援隊について、ボランティア活動について	6
7/10	本所	丹波市の現状、認知症サポーター養成講座、暮らし応援隊について、ボランティア活動について	8
8/8	柏原支所	丹波市の現状、認知症サポーター養成講座、暮らし応援隊について、ボランティア活動について	4
8/22	本所	普通救命講習	13
9/13	春日支所	丹波市の現状、認知症サポーター養成講座、暮らし応援隊について、ボランティア活動について	4
11/12	柏原支所	丹波市の現状、認知症サポーター養成講座、暮らし応援隊について、ボランティア活動について	4
11/21	本所	普通救命講習	4

●暮らし応援隊登録者の町域別登録人数（登録総数 59 名）

町 域	登録人数	町 域	登録人数
柏 原	4	春 日	14
氷 上	8	山 南	18
青 垣	5	市 島	10

●よろずおせっかい支縁センター・よろずおせっかい相談所の開設

市民のちょっとした相談ごとに対応する窓口を増やすため、市内の 17 の社会福祉法人に「よろずおせっかい相談所」、社協柏原支所・氷上支所・春日支所に「よろずおせっかい支縁センター」を開設し、市民の方からの相談を受け入れ、解決に向けてのアドバイスをを行っています。

●丹波市いきいき百歳体操サポーターポイント制度管理

地域のいきいき百歳体操を指導するボランティアサポーターを対象にしたポイント制度は、現場での活動 1 回ごとに 1 ポイント、最高 50 ポイントで 5,000 円が丹波市よりサポーターに振り込まれます。丹波市と役割分担し、社協ではポイント通帳の作成、開催場所とサポーターとのマッチング、ポイント精算時の処理を行っています。

エリア	登録サポーター数
東 部	17
南 部	18
西 部	16
合 計	51

⑥福祉バザーの開催

各支所で福祉バザーを開催しました。収益金は来年度の地域福祉事業に充当します。

支 所	開催日	会 場	収益金額 (円)
柏 原	12/2	柏原福祉センター	259,257
氷 上	11/25	氷上健康福祉センター	249,460
青 垣	12/1	青垣住民センターアリーナ	278,641
春 日	11/3	春日住民センター	281,870
山 南	11/11	JA 山南支店周辺	150,270
市 島	11/3	ライフピアいちじま	175,785
合 計			1,395,283

(2) 地域福祉活動の人材の確保と育成の強化

ボランティアや市民活動団体が活動しやすい環境づくりを進めるとともに、その各種団体等の主体性を尊重した支援をすすめます。

また、地域福祉活動やまちづくり活動などに、子どもや若者、団塊の世代など幅広い世代が参加しやすいしかけを考え提案するとともに、地域福祉活動の担い手の確保、育成に取り組みます。

①団体等の健全な発展及び育成を図るため団体等が行う社会福祉事業への助成

(福祉団体等助成金交付)

各団体が自主性や主体性を生かした活動ができるように、次のとおり幅広く助成を行いました。

助成先	助成金額 (円)
社会福祉法人恩鳥福祉会 たんば園	200,000
NPO 法人ひかみボルゴベネッセレ ワークホームもあ	289,000
NPO 法人かたくり きらめきワーク	247,000
株式会社ネクステ ニコマル	200,000
兵庫県立柏原高等学校	50,000
兵庫県立氷上高等学校	50,000
兵庫県立氷上西高等学校	50,000
兵庫県立氷上特別支援学校	49,939
合 計	1,135,939

②福祉団体の事務支援および助成

丹波市老人クラブ連合会ならびに下記の福祉団体のために専任の職員を置き、必要な事務支援を行いました。また、下記の通り活動助成を行いました。

助成先	助成金額 (円)
丹波市手をつなぐ育成会	80,000

丹波市身体障害者福祉協議会	200,000
丹波市特別支援教育研究部	120,000
合 計	400,000

③丹波市ボランティア・市民活動センターの運営(ボランティアの育成、受入れ、登録等)

ボランティア活動希望者を登録カードによって、ボランティア・市民活動センターで登録し、ボランティアを必要としている人や団体にスムーズにつなげました。

活動分野	団体数	登録人数
保健・医療または福祉の増進を図る活動	72	1,044
まちづくり活動	1	18
学術、文化、芸能、スポーツの振興を図る活動	30	411
環境の保全を図る活動	6	109
災害支援活動	1	52
地域安全活動	2	68
国際協力の活動	0	0
子どもの健全育成	8	98
情報社会	1	6
その他	3	91
計	124	1,897

④丹波市ボランティア講演会の開催

災害時の対応やボランティア活動について、気象予報士の蓬莱大介氏にお話をいただきました。

開催日	場 所	内 容	参加者数	効 果
2/10	ポップアップホール	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアについて ・災害時の自助共助の役割と必要性 講師：蓬莱大介氏	約 450 名	幅広い年齢層の方に多く参加していただけた。 アンケートでは、「ボランティア活動は大切」「地域活動に参加していきたい」など前向きな意見が多数あった。

⑤ボランティア養成講座の開催

●図書館サポーター養成講座

新たなボランティア活動の発掘とボランティアの養成を目的に、丹波市中央図書館との共催で昨年度に引き続き開催しました。

開催日	場 所	内 容	参加者数	登録者数
5/26	丹波市立中央図書館	図書館ボランティア活動に関する こと	4	8
6/16			5	

●カフェボランティア講座 ～地域で作るつどいの場～

地域の支えあい活動の担い手の養成を図るとともに、地域での身近なつどいの場づくりを推進する目的として開催しました。幅広い年代からの参加があり、地域におけるコミュニティカフェの広がりを感じられました。

開催日	場 所	参加者数	内 容
6/5	柏原福祉センター（午前）	19	【第1回目】 コミュニティカフェの必要性と役割、コーヒーの淹れ方出張講座
6/5	社協青垣支所（午後）	28	
6/7	春日住民センター	24	
6/8	「ふれあいサロンたちばな」（和田）	7	【第2回目】 市内コミュニティカフェの視察
6/11	「夢っ茶しぐら」（神楽）	14	
6/18	「いこかfe」（中央）	14	
6/19	「オアシスいつせ交流サロン」（前山）	13	
6/20	「カフェはるべ」（春日部）	16	【第3回目】 コミュニティカフェの活動紹介、自分たちにできるカフェのカタチを考えよう！
6/27	春日福祉センター	32	
6/28	氷上健康福祉センター	26	
延べ参加者数		193	

●趣味から創造する生きがいつくり講座

興味のある講座に参加いただき、仲間づくりを行い地域での活動やボランティア活動につなげられるよう各支所で開催しました。

支所	開催日	講座名	会 場	参加者数	効 果
柏原	3/20	レクリエーション研修	柏原福祉センター	21	コミュニケーション麻雀の遊び方を学び、地域内でのレクとして活用、仲間づくりに役立った。
氷上	12/8	水墨画にふれてみよう！	氷上健康福祉センター	14	仲間づくりのきっかけができ、続けていきたいとの声あり。
青垣	8/27	バッククッキング教室	社協青垣支所	16	災害時の食について考えるきっかけができ、サロンなど地域で広まるきっかけとなった。
春日	3/8	ノルディックウォーキング体験講座 ～歩いて健康＋地域の見守り～	春日住民センター	23	地域の中で歩くことで自身の健康だけでなく、地域のためになることを理

					解いただいた。
山南	3/13	はじめてのいす座禅講座	山南福祉センター	18	地域内の顔見知りを増やすことができ、ボランティアに対する興味も喚起できた。
市島	10/18	楽しく防災を学ぼう	三ツ塚ふれあいセンター 愛育館	100	防災への心がけを学び、ロープワーク等、災害時にも実践的に役立つ技術を身につけていただくことができた。

●朗読ボランティア養成講座

ボランティア活動で活かせる音声表現の基礎を学び、朗読や読み聞かせなど地域で活躍するボランティアの養成を目的として開催しました。

開催日	場 所	参加者数	内 容
12/12	柏原福祉センター	24	【第1回目】「朗読の基本を学ぼう」 1、朗読の基礎知識 2、声が出やすい身体に！ 体とお口の体操 3、聞いてもらえる声に！ 呼吸～発声
12/19		27	【第2回目】「やってみよう！朗読」 1、前回の復習 2、基本テクニックを知る 3、伝わる朗読のために 4、ボランティアグループ活動紹介
延べ参加者数		51	

●手話奉仕員養成講座基礎課程

丹波市からの委託事業として、入門課程・基礎課程を1年ごとに開催し、本年度で10回目の受託となりました。今年度は基礎課程と入門課程の両方を実施しました。

回	開催	場 所	受講者数	内 容
1	6/14	氷上健康福祉センター	14	開講式 表情豊かに具体的に①
2	21		14	表情豊かに具体的に②
3	6/28		13	表情豊かに具体的に③
4	7/12		14	まとめ
5	19		13	主語をわかりやすく①
6	26		12	主語をわかりやすく②

7	8/2	氷上健康福祉センター	13	主語をわかりやすく③	
8	9		12	主語をわかりやすく④	
9	16		13	障害者福祉の基礎（講義）	
10	30		14	まとめ	
11	9/6		12	空間をうまく使いましょう①	
12	13		14	空間をうまく使いましょう②	
13	20		14	両手や指をうまく使いましょう①	
14	9/27		14	両手や指をうまく使いましょう②	
15	10/4		14	繰り返しの表現	
16	11		14	聴覚障害者活動と聴覚障害者福祉制度（講義）	
17	18		12	意味に合った手話	
18	25		13	まとめ	
19	11/1		11	基本文法のまとめ①、ろう者のミニ講演会	
20	8		13	基本文法のまとめ②	
21	15		12	ろう者の手話スピーチを見ましよう	
22	22		10	みんなで話し合ってみましよう	
23	29		13	ろう者と話し合ってみましよう	
24	12/6		12	まとめ（手話スピーチ）、閉講式	
延べ受講者数			310		

●手話奉仕員養成講座入門課程

回	開催	場 所	受講者数	内 容
1	8/21	氷上健康福祉センター	21	開講式 伝えあってみましよう①
2	28		17	伝えあってみましよう②
3	9/11		20	自己紹介をしましよう① 名前を紹介しましよう
4	18		21	自己紹介をしましよう② 家族を紹介しましよう
5	25		20	自己紹介をしましよう③ 数を使って話しましよう
6	10/2		22	自己紹介をしましよう④・趣味について話しましよう
7	9		20	自己紹介をしましよう⑤・仕事について話しましよう
8	16		21	自己紹介をしましよう⑥・住所を紹介しましよう
9	23		22	手話の基礎知識・聴覚障害者の基礎知識（講義）
10	30		21	自己紹介をしましよう⑦ ～まとめ～
11	11/6		22	話してみましようⅠ ① 1日のことを話しましよう
12	13		19	話してみましようⅠ ② 1カ月のことを話しましよう
13	20		20	話してみましようⅠ ③ 1カ月のことを話しましよう
14	27		20	話してみましようⅠ ④ パーティのことを話しましよう
15	12/4		21	聴覚障害者の生活（講義）
16	11		22	話してみましようⅠ⑤ 旅行のことを話してみましよう
17	18		19	話してみましようⅡ① 病院のことを話しましよう
18	1/8		18	話してみましようⅡ② 学校のことを話しましよう

19	15	氷上健康福祉センター	21	話してみましようⅡ③ 職場のことを話しましよう
20	22		20	話してみましようⅡ④ まとめ・手話スピーチ、閉講
延べ受講者数			405	

⑥介護職員初任者研修の開催

地域における介護の担い手の養成と就労支援を目的に開催しました。

実施期間	実施回数	受講者数
5月13日～12月13日	20回(現場実習2日を除く)	15

回	開催日	場 所	参加者数	内 容
1	5/13	氷上健康福祉センター	15	開講式 多様なサービスと理解 介護職の仕事内容や働く現場の理解
2	20		15	人権と尊厳を支える介護 自立に向けた介護
3	27		15	老化に伴うこころとからだの変化と日常 高齢者と健康
4	6/3		15	医療との連携とリハビリテーション 快適な居住環境整備と介護
5	10		15	介護職の役割、専門性と多職種との連携 介護職の職業倫理 障害の基礎的理解 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識 家族の心理、かかり支援の理解
6	17		15	介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護職の安全 障害者総合支援制度およびその他制度
7	24		15	自立に向けた介護 介護保険制度
8	7/1		15	認知症を取り巻く状況 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 家族への支援
9	8		15	介護におけるコミュニケーション 介護におけるチームのコミュニケーション
10	22		15	介護の基本的な考え方 介護に関するこころのしくみの基礎的理解
11	8/5		15	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護
12	11		13	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護
13	19		15	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護
14	26		15	介護に関するからだのしくみの基礎的理解 確認試験 実習オリエンテーション

15	9/2	氷上健康福祉センター	15	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
16	9		15	入浴と清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
17	30		15	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
18	10/14		15	生活と家事 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護
19	11/18		15	振り返り 就業への備えと研修修了後における継続的な研修
20	12/13		15	修了式
延べ参加者数			298	

(3) 各種団体との情報交換や連携の強化

地域のボランティア・市民団体同士の交流や連携を強化し、ボランティア活動・市民活動が活性化するように支援します。

① ボランティアまつり開催経費の助成

各ボランティアグループの活動発表などを通して、市民の皆様にボランティア活動に対する理解を深めていただくために、各地域のボランティア協会支部が主体となり取り込まれる「ボランティアまつり」の開催経費の一部を助成しました。

開催日	主催	参加者数	助成金額(円)
6/2	丹波市ボランティア協会春日支部	500	100,000
2	丹波市ボランティア協会柏原支部	200	87,918
9	丹波市ボランティア協会青垣支部	300	100,000
23	丹波市ボランティア協会氷上支部	300	100,000
10/18	丹波市ボランティア協会市島支部	301	100,000
20	丹波市ボランティア協会山南支部	430	100,000

② 生活支援サービス体制の整備(前述 24 ページ)

(4) 利用者本位のサービス提供

誰でもわかりやすい情報を提供するため、広報紙や電子媒体を活用した広報活動を展開します。また、情報入手が困難な方に対して、多様な情報提供手段を活用して充実を図ります。

① 広報紙『ふくしほっと通信』の発行(前述 14 ページ)

② インターネット媒体の制作・運営(前述 15 ページ)

③ 社協コーナーの活用

春日地域の設置場所がなくなったり、他の地域でも撤去要請があり、内部検討した結果、青垣支所を除く設置場所で、今年度中に設置備品の撤去回収を行いました。

④点字・声の広報発行事業

視覚障害をお持ちの方に必要な情報を伝達するために、朗読・点訳ボランティアにより、丹波市や社協の広報紙等を点訳及び朗読録音し、それを利用者宛に郵送して情報の提供を行いました。

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	計
朗読利用延べ回数	12	94	36	48	57	0	247
点訳利用延べ回数	24	0	0	0	0	0	24

⑤相談支援機能の充実（心配ごと相談、無料法律相談）（前述 22 ページ）

（５）生活困窮者や就職困難者等に対する自立支援

生活福祉資金貸付制度や丹波市生活自立支援相談窓口『めばえ』による公的支援と民生委員・児童委員との連携を中心として、生活困窮者の状況に応じた支援を実施します。

①日常生活自立支援事業（兵庫県社協からの受託事業）（前述 20 ページ）

②生活福祉資金の貸付（兵庫県社協からの受託事業）

兵庫県社協の委託を受け、金融機関で借り入れすることが難しい生活困窮世帯等に貸付申請窓口業務を行いました。

地 域	前年度末 貸付件数	今年度新規貸付 決定件数	今年度末 完了件数	今年度末 貸付中件数
柏 原	14	3	0	17
氷 上	12	1	0	13
青 垣	3	0	1	2
春 日	13	0	0	13
山 南	9	0	0	9
市 島	1	0	0	1
計	52	4	1	55

③福祉資金の貸付

丹波市社協独自の小口資金貸付制度です。支所が相談窓口となり、丹波市生活自立相談窓口「めばえ」と連携しながら、生活困窮者の生活支援を行いました。

地 域	前年度末 貸付中件数	今年度新規貸付 決定件数	今年度末 完了件数	今年度末 貸付中件数
柏 原	4	2	1	5
氷 上	8	1	1	8
青 垣	0	0	0	0

春日	1	0	0	1
山南	2	1	1	2
市島	0	0	0	0
計	15	4	3	16

④物品援助事業

民生委員の協力を得ながら、生活困窮者に当面の食料を中心とした生活物資を購入し、生活援助を行います。同時に生活保護を含む制度までのつなぎとして実施しています。

地域	件数	援助額 (円)
柏原	3	36,392
氷上	4	54,689
春日	3	40,608
山南	1	19,933

⑤平成30年7月豪雨災害に伴う見舞金

平成30年7月の豪雨災害で、床上浸水等により被災された世帯に対して、見舞金を贈りました。

地域	件数	援助額 (円)
柏原	3	60,000
氷上	26	520,000
青垣	1	20,000
春日	15	300,000
山南	18	360,000
市島	34	680,000

⑥生活困窮者自立支援事業への対応

社協は、これら貸付制度を有効に活用するため、自立支援窓口『めばえ』等と連携しながらケースワークを行っています。

⑦たんば子ども食堂事業

食事を通じて子どもと地域がつながる場を作り、寂しさやしんどさを抱える子どもたちを地域で見守りはぐくむための取り組み団体を支援しています。

初回決定年度	決定団体	開設準備経費 (円)	運営費支援 (円)		
			H29	H30	H31
H29	和楽	108,104	30,000	55,000	
H29	春日部地区自治協議会	105,160	55,000	105,000	
H30	ぬぬぎふれあい食堂	69,149	-	40,000	
H30	どんぐり食堂	103,673	-	30,000	

H30	いちべ子ども食堂	0	-	5,000	
-----	----------	---	---	-------	--

⑧自立生活応援事業

事業の準備をしていましたが、申請はありませんでした。

基本目標3 つながりが生みだす豊かな暮らしをめざします（つながる）

市民がお互いに助けあいながら、人にやさしいまちづくりを実践し、すべての人が安心・安全な生活を送ることができるまちづくりを目指すことが必要です。

そのため、自治会内や隣人など個人・世帯の福祉課題に対して、市民一人ひとりが主体となって「自助」「共助」が身近な地域で行われるよう、地域への積極的な参加・参画や市民同士の“つながり”を広げる取組みを推進し、すべての市民が安心・安全に、また心豊かに暮らせる地域づくりを目指します。

（1）防災・減災など安心した地域づくりの推進

民生委員・児童委員、福祉委員等と連携し、平時からの見守りや相談・支援活動、地域活動を通じて、寝たきりや独居高齢者など要配慮者に関する情報の把握、支援を行います。

また、大規模な地震や風水害などの災害に対する取り組みとして、被災地でのボランティア活動を支援するための取り組みや、継続して災害ボランティアの登録受け付け及び災害ボランティア研修を行います。

①災害ボランティア支援事業

災害地での支援活動及び被災地の復興を目的とされる団体に対し、活動の一部を助成しました。

助成先	活動期間	参加者数	助成金額（円）
災害支援ボランティア ネット丹（まごころ）	平成30年6月22日～6月25日	15	460,000

②市民、社協職員による被災地支援

西日本豪雨災害で甚大な被害を受けた岡山県倉敷市に、近畿ブロック社協職員が災害ボランティアセンターの運営支援に入りました。本会職員も、8月から9月にかけて4名を同市災害ボランティアセンターに派遣しました。

9月24日、市内のボランティアを募り、丹波市・社協・市民のボランティアバスを同市に派遣し、家屋の泥かきや清掃に従事しました。

③在宅寝たきり者世帯への歳末見舞品の贈呈

歳末たすけあい運動として、年齢を問わず在宅で寝たきりの方がいらっしゃる世帯に、民生委員を通じお見舞品を配布しました。

支 所	配布世帯数
柏 原	4
氷 上	39
青 垣	5
春 日	24
山 南	22
市 島	26
合 計	120

④火災等見舞金の支給

地域	件数	見舞金（円）
氷上	2	30,000
山南	1	10,000

⑤独居高齢者に対する書状製作・発送

市内で生活されている74歳以上のおひとり暮らしの方に、ボランティアによる絵はがきなどを暑中見舞として発送しました。

支所	暑中見舞		年賀状	
	発送者数	ボランティア延べ人数	発送者数	ボランティア延べ人数
柏原	211	211	209	209
氷上	321	125	320	125
青垣	172	62	172	61
春日	283	15	275	15
山南	285	26	284	26
市島	207	207	204	204
合計	1,479	646	1,464	640

(2) 地域ぐるみの健康づくりの推進

地域のサロン活動などを通じ、健康体操や健康に関する話題の場づくりなど、丹波市と連携しながら市民の健康維持・増進を図るために支援します。

①ふれあい・いきいきサロンへの活動支援(前述15ページ)

②ストップ! 要介護助成事業

いきいき百歳体操を実施しようとする、または実施している市内の自治会等に対し、開催に必要な物品購入費を助成しました。

地域	平成29年度 (1年目)	平成30年度 (2年目)	累計助成 カ所数
柏原		上小倉、下町沖田	2カ所
氷上	市辺、稲畑、上油利、犬岡、北油良、鴨内、北御油	棧敷、氷上、下油利、絹山、大崎、田中、三方、日比宇、新田、三原、柿柴東、横田、南御油、沼	21カ所
青垣	平野、沢野	惣持、栗住野、田井縄、大名草、神楽地区さくら、矢の内	8カ所
春日	新町、下野村、七日市、古河、鹿場、山田、大野、多田、栢野、芝町、国領	下三井庄、棚原、中山、稲塚、広瀬	16カ所

山 南	谷川 6 区、上滝、岩屋、和田 (上町、中町、下町)	谷川 5 区、小新屋、谷川 8 区、 金屋、篠場、長野、青田、山本	14 ヲ所
市 島	新道具、森	市島、上田、北奥、乙河内、 市ノ貝、上垣	8 ヲ所
合 計	26 自治会 28 ヲ所 2,286,000 円	41 自治会 41 ヲ所 3,378,000 円	69 ヲ所

③いきいき百歳体操の運営支援

丹波市がすすめている筋力トレーニング体操「いきいき百歳体操」の開催場所に地域支えあい推進員が出向き、運営の支援を行いました。

また、いきいき百歳体操サポーター養成講座、サポーター交流会での運営支援、地域課題の聞き取りを行いました。

H30.3月末時点	95 ヲ所	H31.3月末時点	126 ヲ所
-----------	-------	-----------	--------

(3) 丹波市ボランティア・市民活動センターの充実強化

丹波市ボランティア・市民活動センターが持つ役割は、丹波市におけるボランティア・市民活動の発展を目指す拠点として、人をつなぐ・情報発信・活動支援・学びの場づくり・福祉教育・ネットワークづくり等が挙げられます。そのためニーズに応じたボランティア活動への支援に努めるとともに、他からのボランティアに関する照会に対応するなど、活動促進につながるような取り組みを行います。

また、ボランティア活動の普及・啓発を行い、ボランティア団体等に対し活動助成を引き続き実施します。

①ボランティアグループに対する活動助成

ボランティアグループ等の事務補助や相談などの他に、ボランティア活動をするための助成を行いました。

助成先	グループ数	助成金額(円)	備考
丹波市ボランティア協会	1	100,000	
丹波市ボランティア協会各支部	6	480,000	1 連絡体あたり 80,000 円
丹波市ボランティア協会所属グループ	66	1,174,600	基本割+人数割により算出
丹波市ボランティア協会未所属グループ	29	362,600	基本割+人数割により算出

②ボランティア活動保険加入手続き事務

兵庫県ボランティア・市民活動災害共済、ボランティア活動等行事用保険の申請窓口として必要な手続き業務を行いました。

③ボランティア活動に対する表彰推薦

ひょうご県民ボランティア活動賞の推薦を行い、ボランティア活動を通じて地域コミュニティの形成に功績のあった方々が表彰されました。

個人 4名
ボランティアグループ 1グループ

④ボランティアコーディネート(前述 28 ページ)

⑤ボランティア養成講座の開催(前述 28 ページ)

⑥サマーボランティア体験教室の開催(前述 15 ページ)

(4) 市民の活動拠点の整備

地域の方が集まる機会や、地域の中で福祉についてみんなで学びあえる機会の充実を図り、市民の声や福祉ニーズをいち早く受け止めます。また、地域福祉活動を進めていくために、市民が気軽に相談したり、年齢や障がいの有無に関係なく交流し、つながる場づくりを推進します。

①よろずおせっかい支縁センター・よろずおせっかい相談所の開設(前述 26 ページ)

②出張ふくし教室・出張介護教室の開催(前述 12 ページ)

③地域福祉推進支援事業による地域福祉活動支援(前述 22 ページ)

④福祉のまちづくり交付金交付事業

善意銀行を財源とした、福祉のまちづくりに関する事業に使用できる非常に自由度の高い交付金事業を平成 30 年度まで実施し、事業を完了しました。

助成先	金額(円)
竹田地区自治振興会	230,000
大路自治協議会	172,000
合計	402,000

(5) 虐待防止への取り組みの推進

高齢者や障がい者等に対する虐待などが深刻な社会問題となっております。すべての市民が尊厳を持って安心して暮らすことができるよう、市民や関係機関・団体との連携を強化し、虐待防止に向けた取り組みを推進します。

①よろずおせっかい支縁センター・よろずおせっかい相談所の開設(前述 26 ページ)

②日常生活自立支援事業(兵庫県社協からの受託事業)(前述 20 ページ)

③心配ごと相談所の開設（前述 22 ページ）

④無料法律相談所の開設（前述 22 ページ）

(介護保険事業)

■平成 30 年度の取り組み (介護保険等事業の基本的な目標と取り組み計画)

(1)利用者本位のサービス提供

通所介護事業では、柔道整復師による定期的な機能訓練指導を取り入れることで、利用者の心身機能の維持向上に努めました。また、レクリエーション等を通じて利用者が自己選択・自己決定しやすいように意識的に声かけを行いました。

各事業所では、利用者や家族が抱える課題を定例会等で話し合い、解決できるよう取り組みました。

(2)地域包括ケアシステムの一翼を担う運営

丹波市が進める医療機関ネットワーク構築に係る協定に基づき、在宅生活を支える医療・介護のサービス事業者や関係機関との連携を図りました。

また、社協が行う出張ふくし教室や出張介護教室に積極的に事業所の職員が関わり、介護予防の体操や介護サービスの紹介、介護技術の実演など専門性を活かし、地域住民に福祉への関心を高めさせていただくように努めました。

(3)介護保険事業経営改善に向けた取り組み

職員がより効率的に活動できる環境を整えるとともに経費節減に取り組むため、4月より居宅介護支援事業では事業所3ヶ所を2ヶ所に集約し、訪問介護事業では出張所2ヶ所を事業所1ヶ所に集約しました。

通所介護事業及び訪問入浴介護事業では、東部デイサービスセンターと訪問入浴サービスセンターの職員を統合することで人件費削減を図りましたが、臨時介護職員の不足等により経営改善には至っていません。人材の確保については、今後もハローワーク等と連携し、積極的に周知に努めます。

認知症対応型通所介護事業では、経営改善会議等を通じて職員が運営全般に問題意識をもち、多様な課題や利用者ニーズに応じた改善につながる協議を行い、サービスの向上に努めました。新規利用者の獲得が困難な状況です。

【高齢者介護サービス (委託事業を含む)】

①指定居宅介護支援事業 (47 ページ)

介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネジャー (介護支援専門員) が心身の状況や生活環境、本人・家族の希望等に沿って、ケアプラン (居宅サービス計画) の作成、ケアプランに位置づけたサービスを提供する事業所等との連絡・調整などを行いました。前年度比較件数では、事業所の集約に伴う職員異動により、東部及び西部ケアマネジメントセンターで増加しましたが、南部ケアマネジメントセンターの前年度実績を踏まえると、全体で 131 件減少 (介護支援専門員 1 人あたり月 31.7 件) となります。介護予防を含む対標準件数 (1 人あた

り 35 件) の平均稼働率では、東部及び西部ともに低下 (東部 92.1%、西部 97.7%) しました。2～3 月の減少は、丹波市東部地域包括支援センターの受託決定に伴い、担当件数の調整を行ったことが要因です。

②指定訪問介護事業 (51 ページ)

ホームヘルパー (訪問介護員) が利用者 (要介護 1～5) の居宅を訪問して、入浴、排せつ、食事等の介護を行いました。前年度比較のサービス提供回数では 1,095 回増加となり、利用者等の要望に職員が柔軟かつ積極的に対応した結果が表れています。しかしながら、利用者の増加に人員的な対応が困難になったため、7 月より新規利用の受け入れを停止しました。その影響によりサービス提供回数が徐々に減少しましたが、常勤職員の増員を見込んで 2 月より新規利用の受け入れを再開し、回復傾向にあります。

③訪問型サービス A 事業 (51 ページ)

ホームヘルパー (訪問介護員) が利用者 (要支援 1、2、事業対象者) の居宅を訪問して、調理、洗濯、掃除等の家事を行いました。介護保険法の改正により要支援 1、2 の介護予防事業の利用者が介護予防・日常生活支援総合事業へすべて移行したことに伴い、前年度比較のサービス提供回数では、1,335 回増加しましたが、介護予防事業の前年度実績を踏まえると実質 1,837 回の減少となります。

④指定通所介護事業 (53 ページ)

利用者 (要介護 1～5) を送迎し、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援などを日帰りで提供することにより、利用者の心身機能の維持向上と利用者の家族負担の軽減を図りました。前年度比較のサービス提供回数では、東部デイサービスセンターが 642 回減少し、西部デイサービスセンターが 131 回増加しました。東部デイサービスセンターの減少は、平成 30 年 1 月より地域密着型通所介護事業所へ移行し、定員 25 名から 18 名に変更したことが要因です。また、総合事業を含む平均稼働率では、東部及び西部デイサービスセンターとも前年度より上昇 (東部 76.6%、西部 73.8%) しました。

⑤通所型サービス A 事業 (54～55 ページ)

利用者 (要支援 1、2、事業対象者) を送迎し、いきいき百歳体操や交流活動などを日帰りで提供することにより、利用者の心身機能の維持向上を図りました。介護保険法の改正により要支援 1、2 の介護予防事業の利用者が介護予防・日常生活支援総合事業へすべて移行したことに伴い、前年度比較のサービス提供回数では、332 回増加しましたが、介護予防事業の前年度実績を踏まえると実質 26 回の増加となります。火・水・木曜日、定員 3 名で実施していますが、特に東部デイサービスセンターのサービス提供回数が増加しています。

⑥指定認知症対応型通所介護 (介護予防認知症対応型通所介護) 事業 (53～54 ページ)

認知症の利用者を送迎し、入浴、食事等の介護や生活等に関する相談、健康状態の確認などを日

帰りで提供することにより、利用者の心身機能の維持向上と利用者の家族負担の軽減を図りました。要支援1、2（介護予防）の利用者は前年度同様に無く、要介護1～5の利用者の前年度比較のサービス提供回数では285回減少しました。要介護度の高い利用者が多いことから、活動的なサービスを提供する印象が薄れ、認知症状のある軽度の利用者を確保することが困難になっています。また、平均稼働率についても前年度よりさらに低下（41.1%）しました。新規利用者を獲得するため居宅介護支援事業所を訪問し、個別ケアを重視した取り組みを周知しましたが、新規利用者は年間で3件でした。

⑦指定訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）事業（56ページ）

自宅の浴槽での入浴が困難な方に対して、可搬式の浴槽を積んだ入浴車が利用者の居宅を訪問し、看護職員や介護職員が入浴の介護を行いました。要支援1、2（介護予防）の利用者は無く、要介護1～5の前年度比較のサービス提供回数では150回減少しました。臨時介護職員の不足により、サービス提供回数を制限したり、新規利用の受け入れを停止したことが要因です。

⑧要介護（要支援）認定訪問調査事業（受託事業）（50ページ）

丹波市等からの依頼により、介護認定を受けるための調査票に基づいて、身体の状態や介護されている状況、生活の様子などを聞き取る調査を行いました。前年度比較件数では、東部ケアマネジメントセンターで27件増加し、西部ケアマネジメントセンターで5件増加しました。南部ケアマネジメントセンターの前年度実績を踏まえると、全体で3件減少（介護支援専門員1人あたり月1.1件）しています。

⑨介護予防ケアプラン作成事業（受託事業）（48～49ページ）

丹波市等からの依頼により、要支援1または要支援2の認定を受けた方が、自宅で介護予防のためのサービスを適切に利用できるよう、ケアプラン（介護予防サービス計画）の作成や、サービス事業所との連絡・調整などを行いました。前年度比較件数（介護予防・日常生活支援総合事業含む）では、東部ケアマネジメントセンターで11件増加し、西部ケアマネジメントセンターで48件減少しました。南部ケアマネジメントセンターの前年度実績を踏まえると、全体で175件減少（介護支援専門員1人あたり月3.3件）しています。

⑩生きがいデイサービス事業（受託事業）（57ページ）

家に閉じこもりがちな利用者をバスで送迎し、健康チェック、レクリエーション、昼食などを日帰りで提供することにより、利用者の在宅生活の継続、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上を図りました。前年度比較人数では、全体で2,762人減少しました。事業実施エリアを2ヶ所から1ヶ所に集約したことが要因です。

今年度実施された市福祉部による利用者の意向調査の結果をもとに市と協議を重ね、平成30年度末をもって事業が廃止となり、受託が終了となりました。

⑪元気アップ広場事業（補助事業）（58ページ）

会場に来られた利用者（介護を必要としない高齢者）に、いきいき百歳体操や交流活動などを日帰りで提供することにより、利用者の心身機能の維持向上を図りました。平成29年8月から市島地域で毎週金曜日に実施しており、前年度比較のサービス提供回数では、296人増加しました。

【障がい者介護サービス（委託事業を含む）】

①特定相談支援事業（57ページ）

障がい福祉サービスを必要とされる方に対して、利用申請時のサービス等利用計画案の作成やサービス支給決定後の連絡調整、サービス等利用計画の作成を行い、サービス等利用計画が適切かどうかモニタリング（効果の分析や評価）し、必要に応じて見直しを行いました。前年度比較件数では14件増加となりました。

②指定居宅介護事業（52ページ）

ホームヘルパー（訪問介護員）が障がいのある利用者の居宅を訪問して、入浴、排せつ、食事等の介護や調理、洗濯、掃除等の家事、生活等に関する相談や助言などを行いました。前年度比較のサービス提供回数では570回増加となりました。

③指定同行援護事業（52ページ）

視覚障がいのある利用者が外出する際に同行し、移動に必要な情報の提供や、移動の援護、排せつ、食事等の介護などを行いました。サービス提供回数は、利用者の社会参加等の有無で大きく左右され、前年度比較では26件減少となりました。

④移動支援事業（受託事業）（52ページ）

屋外での移動が困難な視覚障がい者（児）の地域における自立生活や社会参加を促すため、外出の際の支援を行いました。サービス提供回数は、利用者の社会参加等の有無で大きく左右され、前年度比較では49件増加となりました。

⑤基準該当生活介護事業（55ページ）

障がいのある利用者を送迎し、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援などを日帰りで提供することにより、利用者の心身機能の維持向上と利用者の家族負担の軽減を図りました。サービス提供回数は、利用登録者の人数に大きく左右され、前年度比較では東部及び西部デイサービスセンター合わせて114件減少となりました。

⑥訪問入浴サービス事業（受託事業）（56ページ）

家庭において、入浴が困難な重度障がい者に対して、訪問入浴サービスを行いました。サービス提供回数は、利用登録者の人数に大きく左右され、前年度比較では40件増加となりました。

⑦高齢聴覚障がい者生きがづくり事業（受託事業）（58ページ）

奇数月第3木曜日に聴覚に障がいのある利用者を送迎し、健康チェック、レクリエーション、昼

食などを日帰りで提供することにより、利用者の生きがいをづくりの支援を行いました。前年度比較では増減はありませんでした。生きがいデイサービス事業の平成30年度末の廃止に合わせて、受託が終了となりました。

■その他の事業の推進

- ①介護職員初任者研修（補助事業）（前述 32～33 ページ）
- ②障がい者就労支援事業（受託事業）（前述 17 ページ）
- ③障がい者相談支援事業（受託事業）（前述 21 ページ）

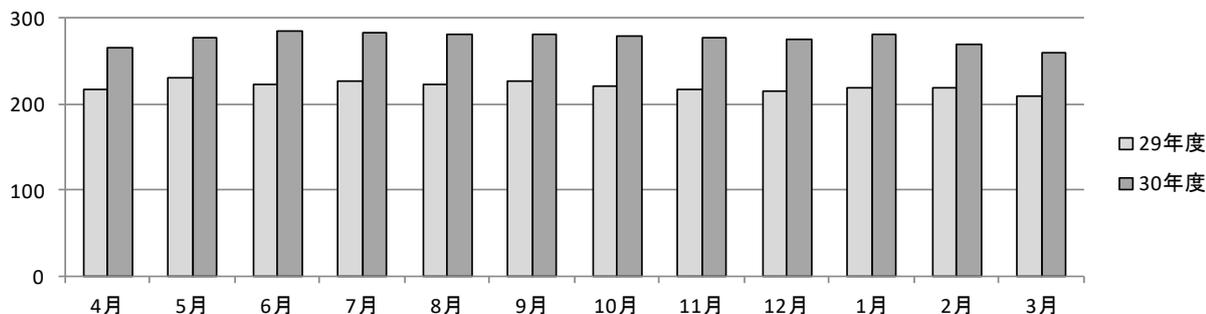
平成 30 年度介護保険等事業実績集計表

◇居宅介護支援事業

東部ケアマネジメントセンター

単位：件

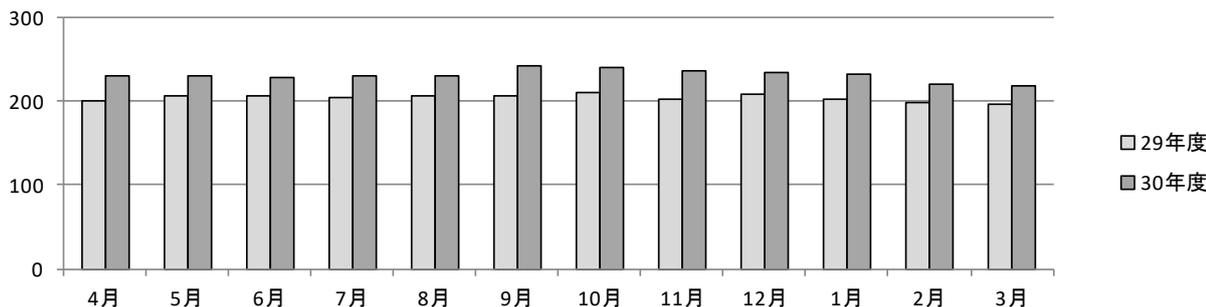
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	217	230	224	226	224	226	222	218	215	220	219	210	2,651
30年度	265	277	285	283	281	281	280	277	276	282	269	260	3,316
差異	48	47	61	57	57	55	58	59	61	62	50	50	665



西部ケアマネジメントセンター

単位：件

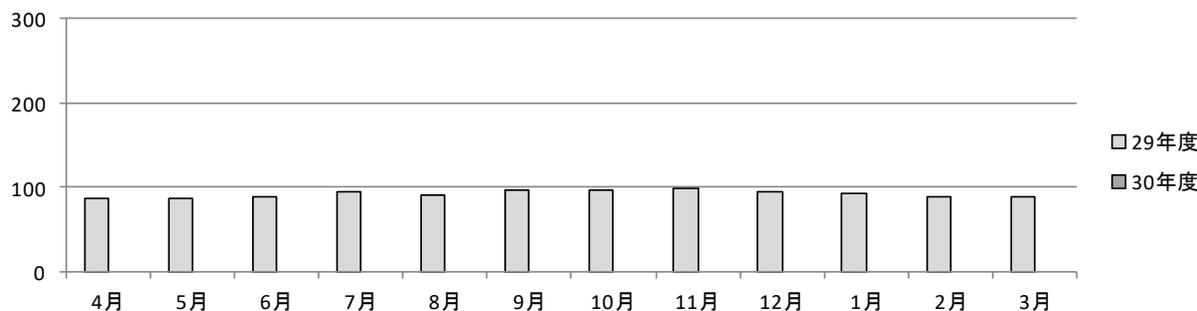
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	200	207	207	205	206	207	210	202	208	203	199	197	2,451
30年度	230	229	228	230	230	241	239	235	234	231	220	218	2,765
差異	30	22	21	25	24	34	29	33	26	28	21	21	314



南部ケアマネジメントセンター

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	87	87	90	94	92	97	97	98	95	93	90	90	1,110
30年度	▲ 87	▲ 87	▲ 90	▲ 94	▲ 92	▲ 97	▲ 97	▲ 98	▲ 95	▲ 93	▲ 90	▲ 90	▲ 1,110
差異	▲ 87	▲ 87	▲ 90	▲ 94	▲ 92	▲ 97	▲ 97	▲ 98	▲ 95	▲ 93	▲ 90	▲ 90	▲ 1,110

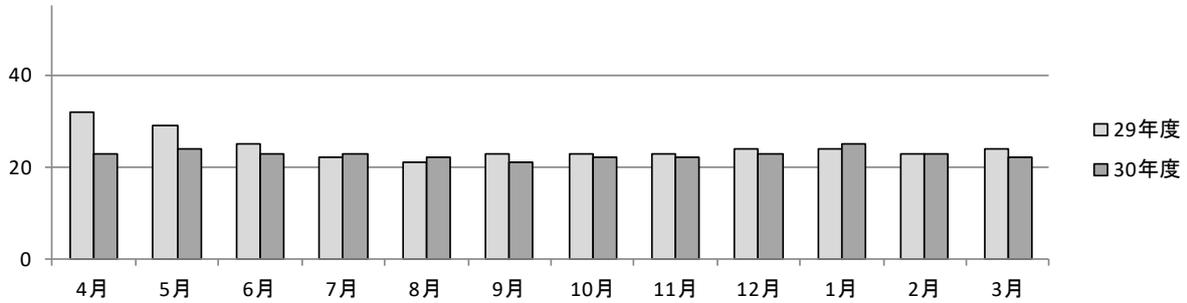


◇介護予防支援事業（受託事業）

東部ケアマネジメントセンター

単位：件

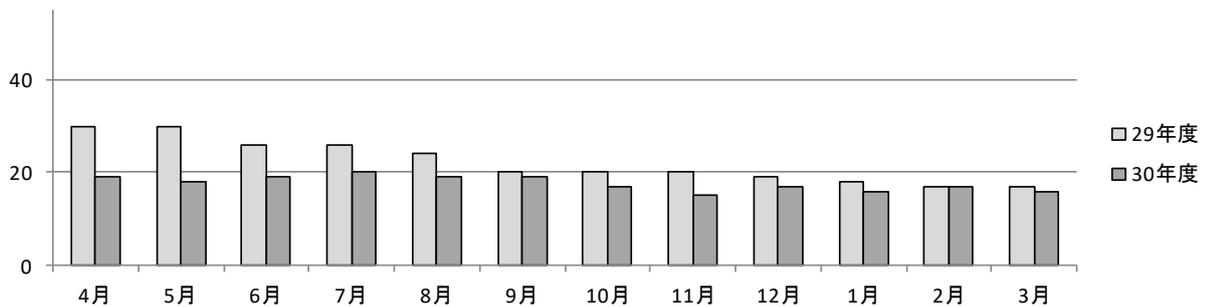
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	32	29	25	22	21	23	23	23	24	24	23	24	293
30年度	23	24	23	23	22	21	22	22	23	25	23	22	273
差異	▲ 9	▲ 5	▲ 2	1	1	▲ 2	▲ 1	▲ 1	▲ 1	1	0	▲ 2	▲ 20



西部ケアマネジメントセンター

単位：件

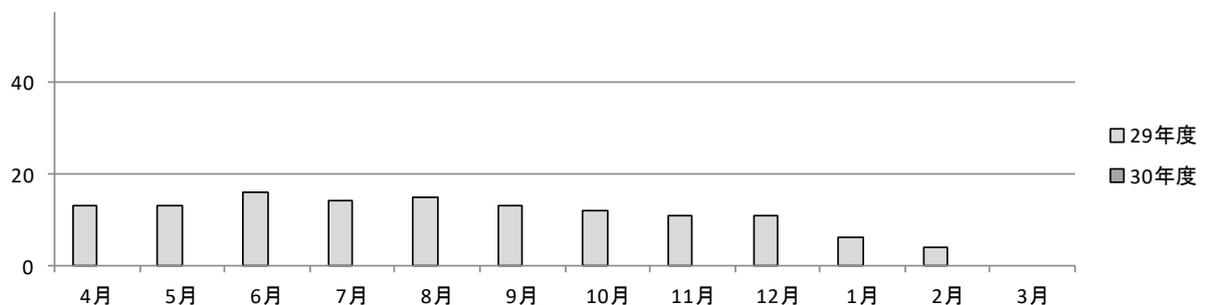
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	30	30	26	26	24	20	20	20	19	18	17	17	267
30年度	19	18	19	20	19	19	17	15	17	16	17	16	212
差異	▲ 11	▲ 12	▲ 7	▲ 6	▲ 5	▲ 1	▲ 3	▲ 5	▲ 2	▲ 2	0	▲ 1	▲ 55



南部ケアマネジメントセンター

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	13	13	16	14	15	13	12	11	11	6	4	0	128
30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
差異	▲ 13	▲ 13	▲ 16	▲ 14	▲ 15	▲ 13	▲ 12	▲ 11	▲ 11	▲ 6	▲ 4	0	▲ 128

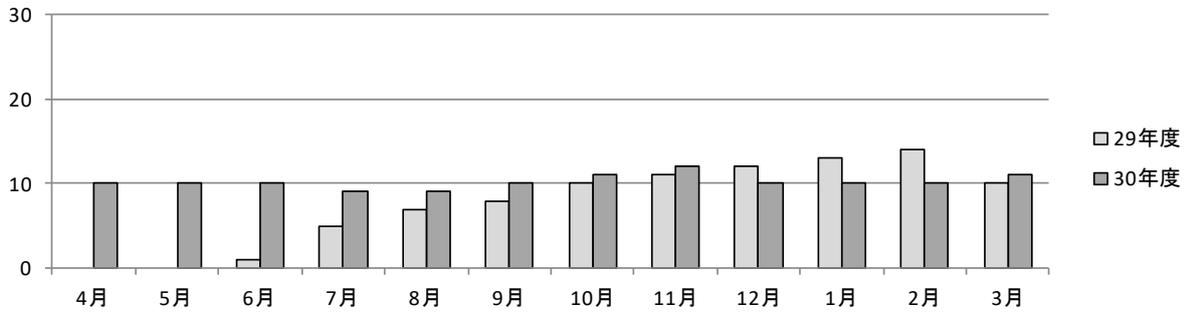


◇介護予防ケアマネジメント事業〔介護予防・日常生活支援総合事業〕（受託事業）

東部ケアマネジメントセンター

単位：件

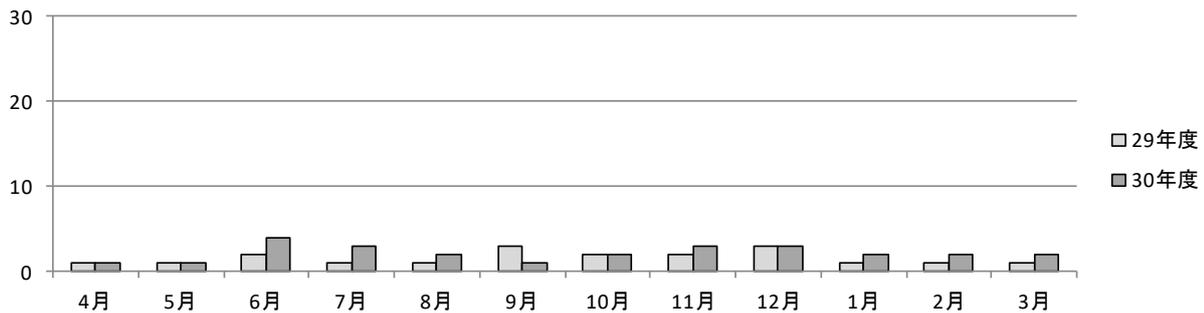
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	0	0	1	5	7	8	10	11	12	13	14	10	91
30年度	10	10	10	9	9	10	11	12	10	10	10	11	122
差異	10	10	9	4	2	2	1	1	▲ 2	▲ 3	▲ 4	1	31



西部ケアマネジメントセンター

単位：件

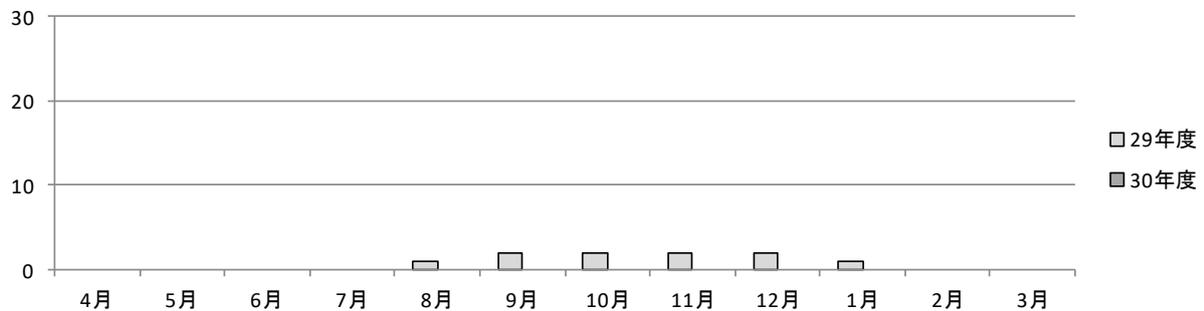
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	1	1	2	1	1	3	2	2	3	1	1	1	19
30年度	1	1	4	3	2	1	2	3	3	2	2	2	26
差異	0	0	2	2	1	▲ 2	0	1	0	1	1	1	7



南部ケアマネジメントセンター

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	0	0	0	0	1	2	2	2	2	1	0	0	10
30年度	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0
差異	0	0	0	0	▲ 1	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 1	0	0	▲ 10

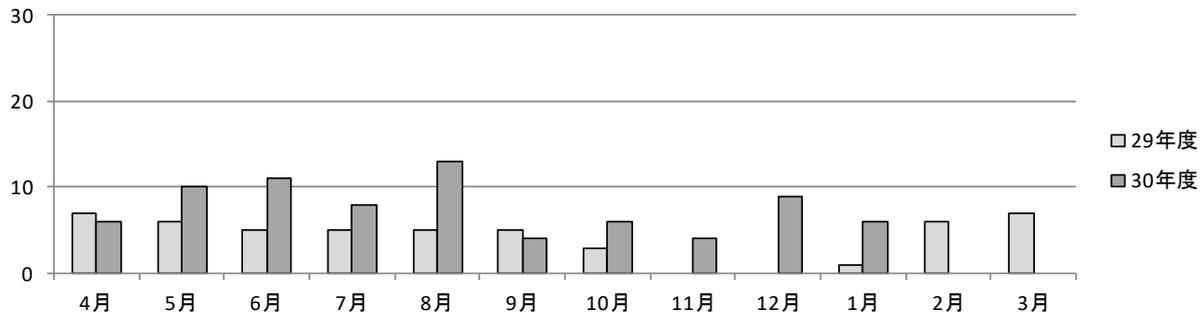


◇要介護認定訪問調査（受託事業）

東部ケアマネジメントセンター

単位：件

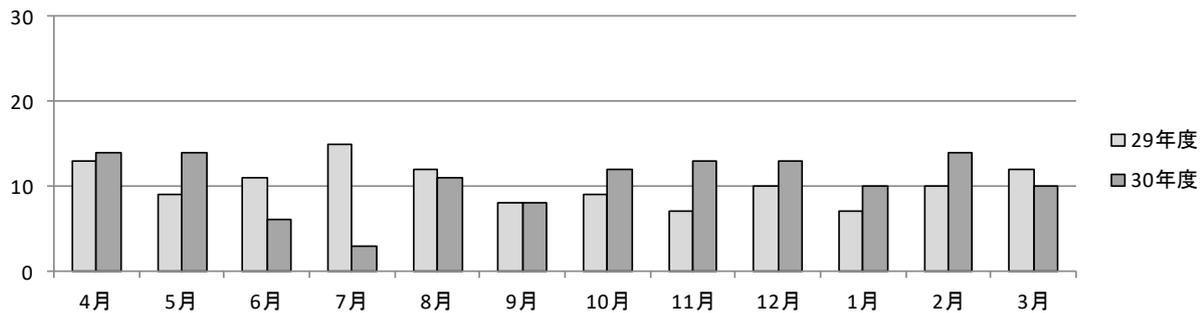
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	7	6	5	5	5	5	3	0	0	1	6	7	50
30年度	6	10	11	8	13	4	6	4	9	6	0	0	77
差異	▲ 1	▲ 4	▲ 6	▲ 3	▲ 8	▲ 1	▲ 3	▲ 4	▲ 9	▲ 5	▲ 6	▲ 7	▲ 27



西部ケアマネジメントセンター

単位：件

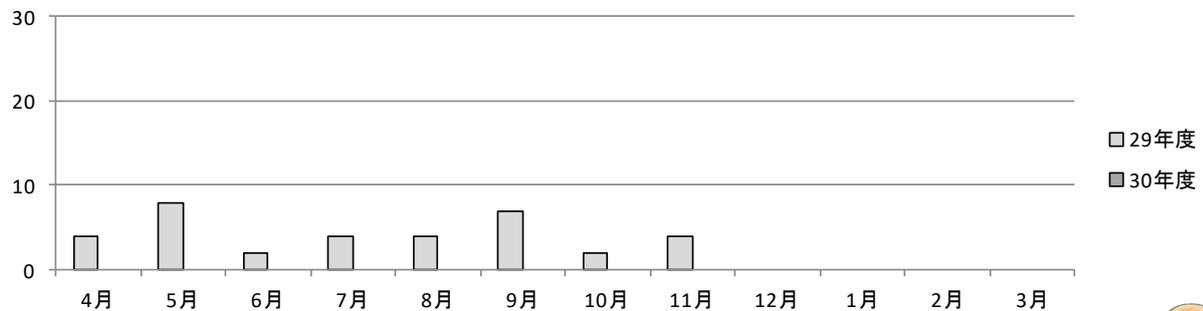
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	13	9	11	15	12	8	9	7	10	7	10	12	123
30年度	14	14	6	3	11	8	12	13	13	10	14	10	128
差異	▲ 1	▲ 5	▲ 5	▲ 12	▲ 1	0	▲ 3	▲ 6	▲ 3	▲ 3	▲ 4	▲ 2	▲ 5



南部ケアマネジメントセンター

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	4	8	2	4	4	7	2	4	0	0	0	0	35
30年度	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0
差異	▲ 4	▲ 8	▲ 2	▲ 4	▲ 4	▲ 7	▲ 2	▲ 4	0	0	0	0	▲ 35

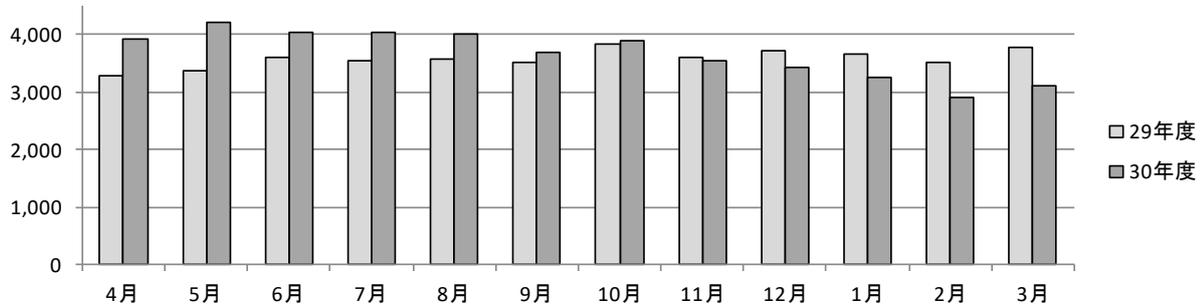


◇訪問介護事業

ホームヘルプセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	3,275	3,365	3,608	3,552	3,591	3,527	3,831	3,605	3,711	3,678	3,530	3,768	43,041
30年度	3,938	4,204	4,046	4,036	4,023	3,704	3,885	3,553	3,442	3,258	2,923	3,124	44,136
差異	663	839	438	484	432	177	54	▲ 52	▲ 269	▲ 420	▲ 607	▲ 644	1,095

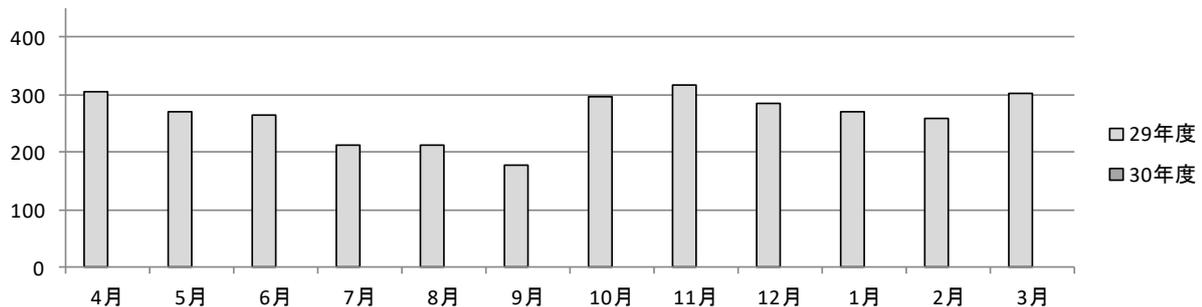


◇介護予防訪問介護事業

ホームヘルプセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	305	272	264	211	213	178	296	316	284	272	258	303	3,172
30年度	▲ 305	▲ 272	▲ 264	▲ 211	▲ 213	▲ 178	▲ 296	▲ 316	▲ 284	▲ 272	▲ 258	▲ 303	▲ 3,172

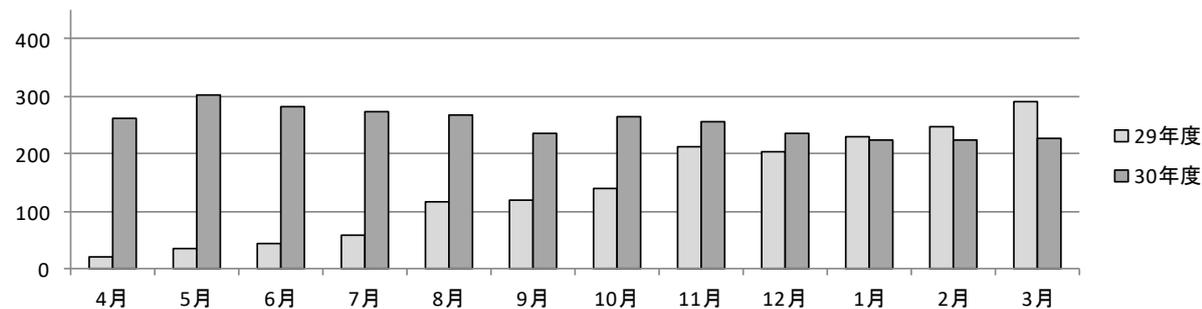


◇訪問型サービスA事業〔介護予防・日常生活支援総合事業〕

ホームヘルプセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	21	36	45	57	117	119	141	212	204	230	248	292	1,722
30年度	261	304	282	274	267	237	264	257	235	224	225	227	3,057
差異	240	268	237	217	150	118	123	45	31	▲ 6	▲ 23	▲ 65	1,335

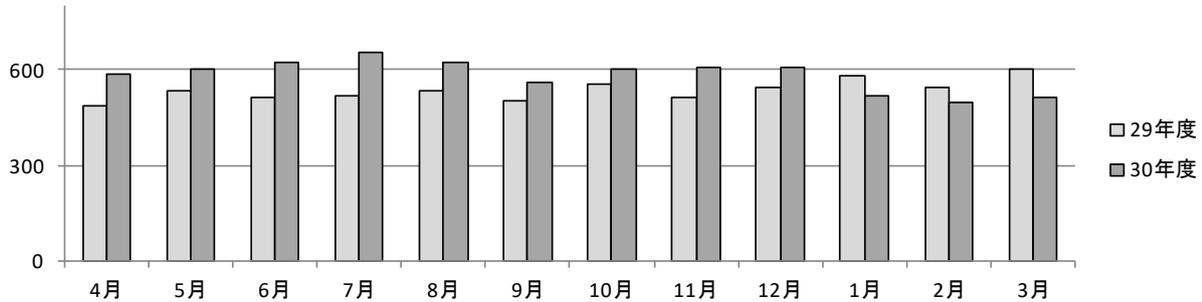


◇障害福祉サービス居宅介護事業

ホームヘルプセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	488	532	516	519	536	504	553	513	547	581	543	602	6,434
30年度	588	605	624	653	624	561	604	606	610	520	497	512	7,004
差異	100	73	108	134	88	57	51	93	63	▲ 61	▲ 46	▲ 90	570

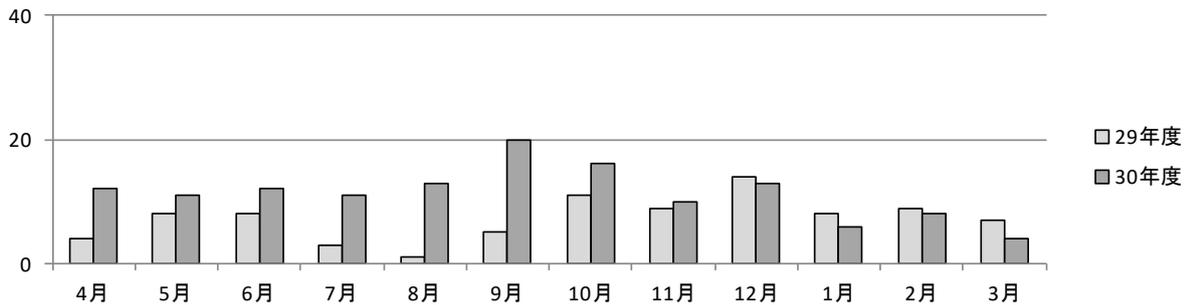


◇移動支援事業

ホームヘルプセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	4	8	8	3	1	5	11	9	14	8	9	7	87
30年度	12	11	12	11	13	20	16	10	13	6	8	4	136
差異	8	3	4	8	12	15	5	1	▲ 1	▲ 2	▲ 1	▲ 3	49

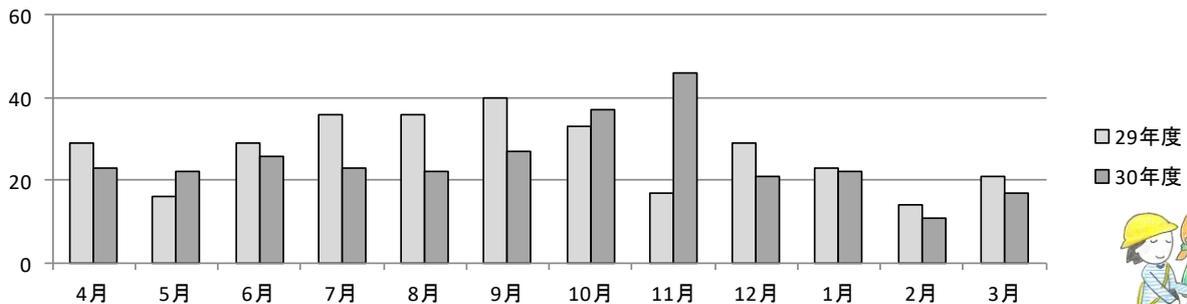


◇同行援護事業

ホームヘルプセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	29	16	29	36	36	40	33	17	29	23	14	21	323
30年度	23	22	26	23	22	27	37	46	21	22	11	17	297
差異	▲ 6	6	▲ 3	▲ 13	▲ 14	▲ 13	4	29	▲ 8	▲ 1	▲ 3	▲ 4	▲ 26

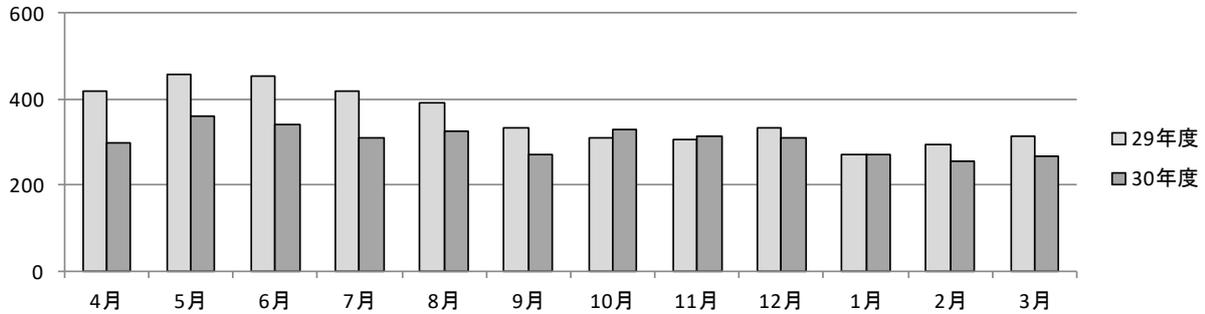


◇通所介護事業（地域密着サービス認知症対応型を含む）

東部デイサービスセンター

単位：回

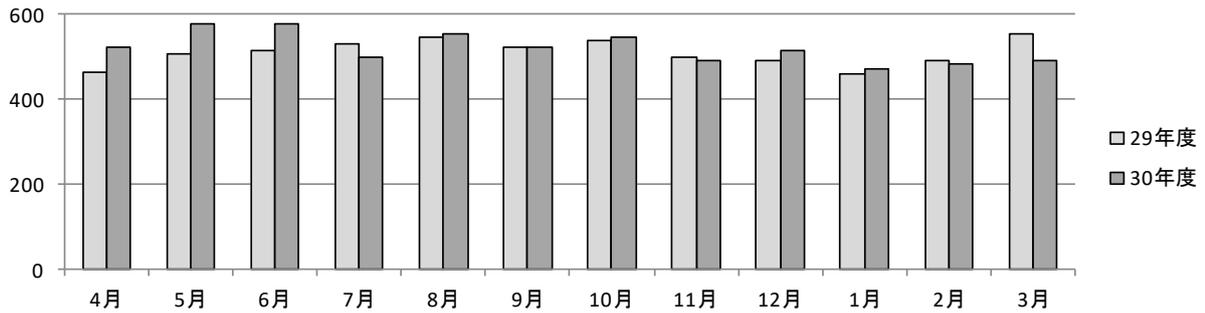
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	420	459	455	418	393	334	310	305	333	270	295	313	4,305
30年度	300	362	343	311	327	270	328	316	311	271	258	266	3,663
差異	▲ 120	▲ 97	▲ 112	▲ 107	▲ 66	▲ 64	18	11	▲ 22	1	▲ 37	▲ 47	▲ 642



西部デイサービスセンター

単位：回

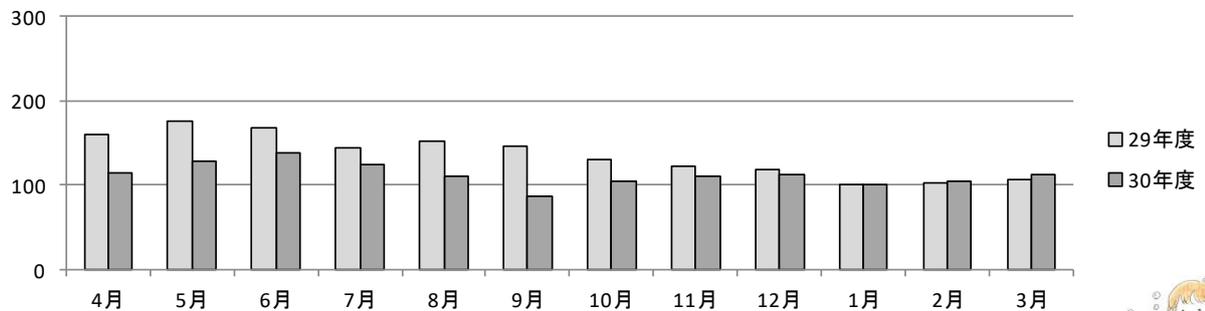
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	463	508	514	529	548	523	539	499	493	459	492	556	6,123
30年度	522	579	577	501	553	523	545	492	516	471	482	493	6,254
差異	59	71	63	▲ 28	5	0	6	▲ 7	23	12	▲ 10	▲ 63	131



いちじま憩いの家

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	161	177	168	145	152	146	131	123	119	101	102	107	1,632
30年度	114	128	139	124	110	88	104	110	113	100	104	113	1,347
差異	▲ 47	▲ 49	▲ 29	▲ 21	▲ 42	▲ 58	▲ 27	▲ 13	▲ 6	▲ 1	2	6	▲ 285

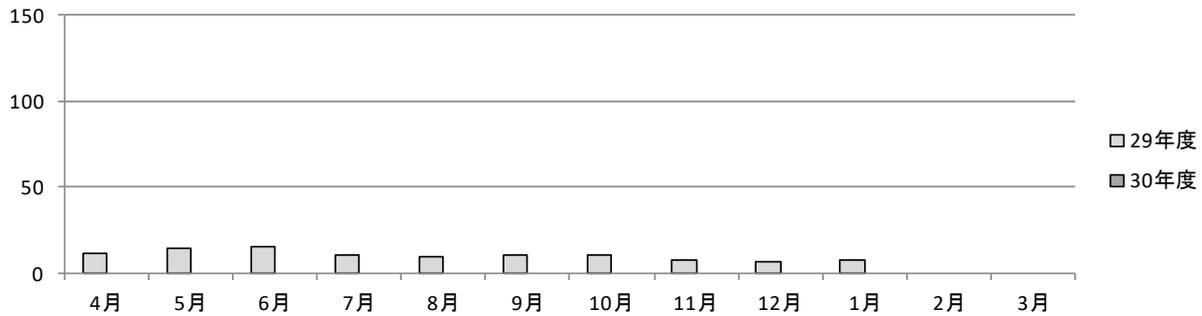


◇介護予防通所介護事業（地域密着サービス認知症対応型を含む）

東部デイサービスセンター

単位：回

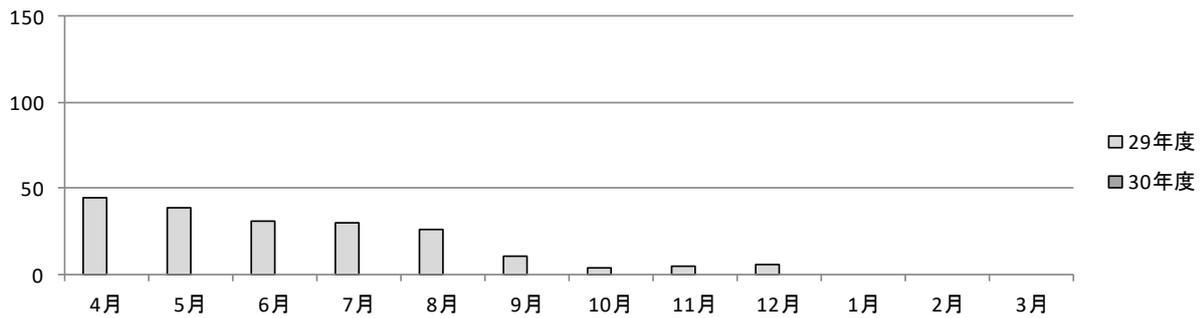
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	12	15	16	11	10	11	11	8	7	8	0	0	109
30年度													0
差異	▲ 12	▲ 15	▲ 16	▲ 11	▲ 10	▲ 11	▲ 11	▲ 8	▲ 7	▲ 8	0	0	▲ 109



西部デイサービスセンター

単位：回

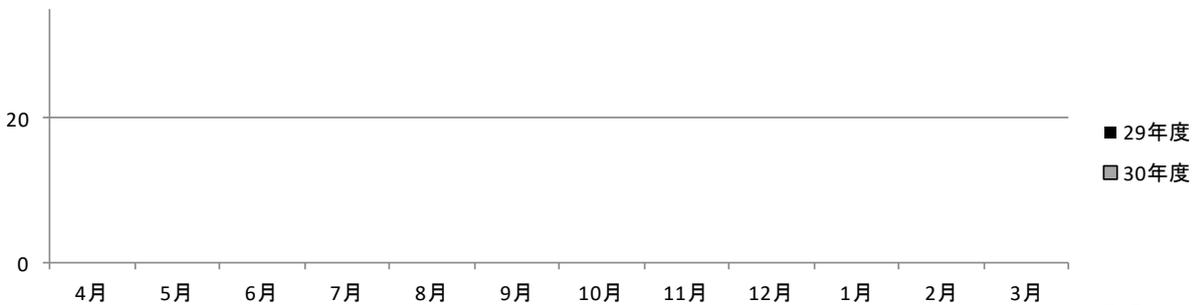
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	45	39	31	30	26	11	4	5	6	0	0	0	197
30年度													0
差異	▲ 45	▲ 39	▲ 31	▲ 30	▲ 26	▲ 11	▲ 4	▲ 5	▲ 6	0	0	0	▲ 197



いちじま憩いの家

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
差異	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

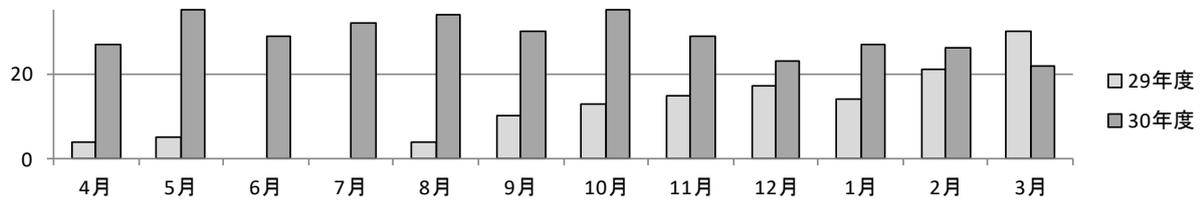


◇通所型サービスA事業〔介護予防・日常生活支援総合事業〕

東部デイサービスセンター

単位：回

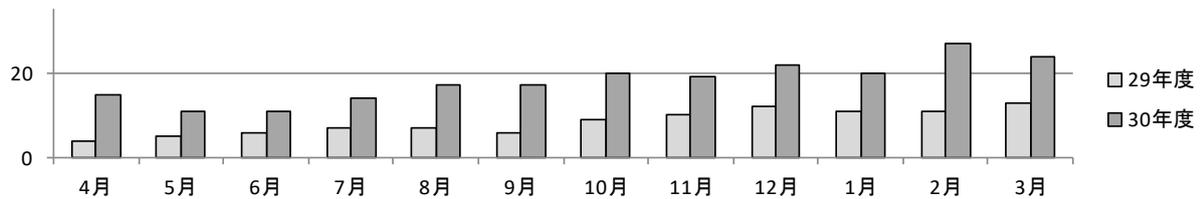
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	4	5	0	0	4	10	13	15	17	14	21	30	133
30年度	27	35	29	32	34	30	35	29	23	27	26	22	349
差異	23	30	29	32	30	20	22	14	6	13	5	▲ 8	216



西部デイサービスセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	4	5	6	7	7	6	9	10	12	11	11	13	101
30年度	15	11	11	14	17	17	20	19	22	20	27	24	217
差異	11	6	5	7	10	11	11	9	10	9	16	11	116

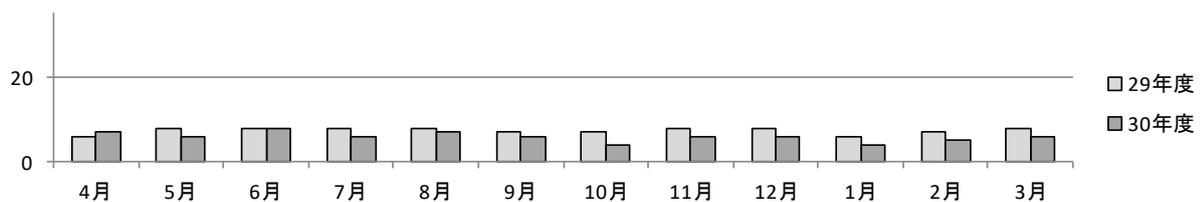


◇基準該当生活介護（障害者デイサービス）事業

東部デイサービスセンター

単位：回

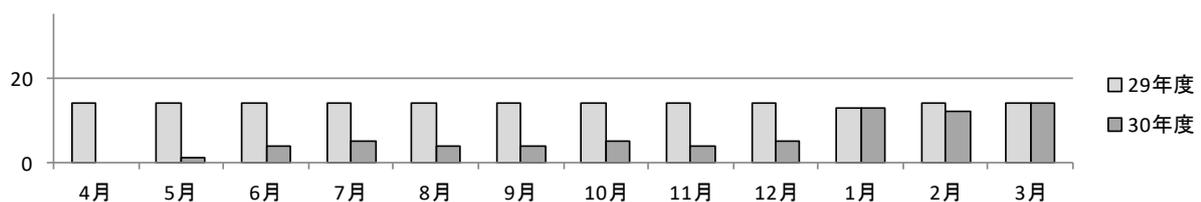
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	6	8	8	8	8	7	7	8	8	6	7	8	89
30年度	7	6	8	6	7	6	4	6	6	4	5	6	71
差異	1	▲ 2	0	▲ 2	▲ 1	▲ 1	▲ 3	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 18



西部デイサービスセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	14	14	167
30年度	0	1	4	5	4	4	5	4	5	13	12	14	71
差異	▲ 14	▲ 13	▲ 10	▲ 9	▲ 10	▲ 10	▲ 9	▲ 10	▲ 9	0	▲ 2	0	▲ 96

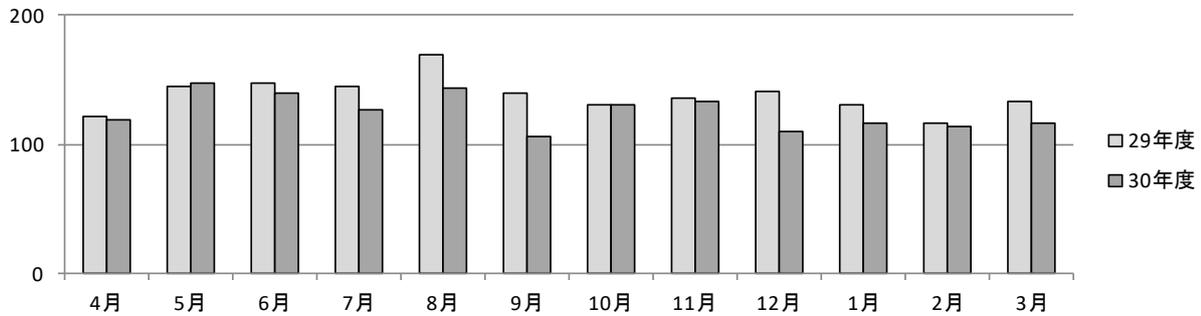


◇訪問入浴介護事業

訪問入浴サービスセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	121	145	147	145	169	139	130	136	141	130	117	133	1,653
30年度	119	147	140	127	144	106	131	133	110	116	114	116	1,503
差異	▲ 2	2	▲ 7	▲ 18	▲ 25	▲ 33	1	▲ 3	▲ 31	▲ 14	▲ 3	▲ 17	▲ 150

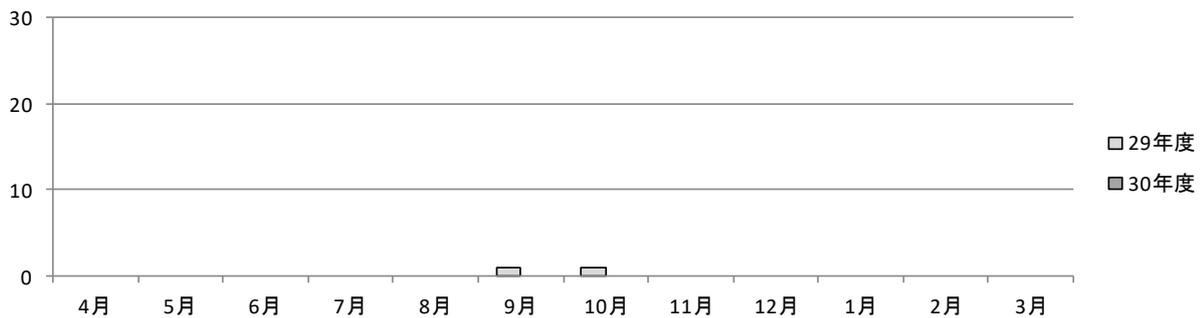


◇介護予防訪問入浴介護事業

訪問入浴サービスセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
差異	0	0	0	0	0	▲ 1	▲ 1	0	0	0	0	0	▲ 2

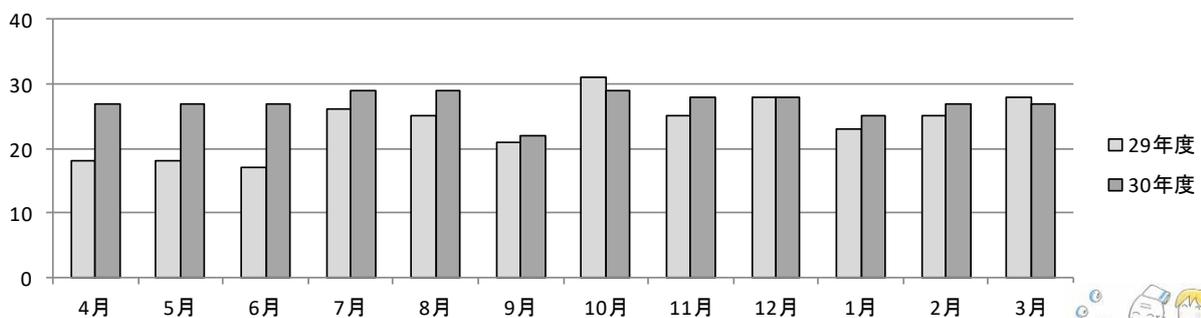


◇訪問入浴サービス事業（障害）

訪問入浴サービスセンター

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	18	18	17	26	25	21	31	25	28	23	25	28	285
30年度	27	27	27	29	29	22	29	28	28	25	27	27	325
差異	9	9	10	3	4	1	▲ 2	3	0	2	2	▲ 1	40

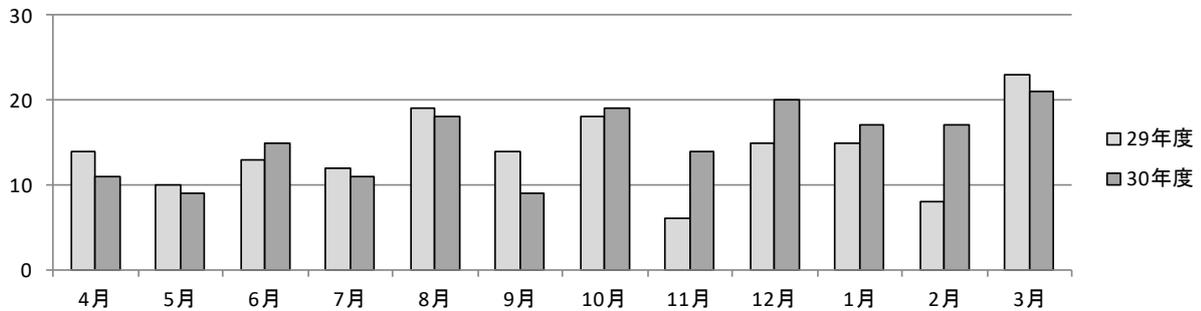


◇相談支援事業

相談支援事業所

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	14	10	13	12	19	14	18	6	15	15	8	23	167
30年度	11	9	15	11	18	9	19	14	20	17	17	21	181
差異	▲ 3	▲ 1	2	▲ 1	▲ 1	▲ 5	1	8	5	2	9	▲ 2	14

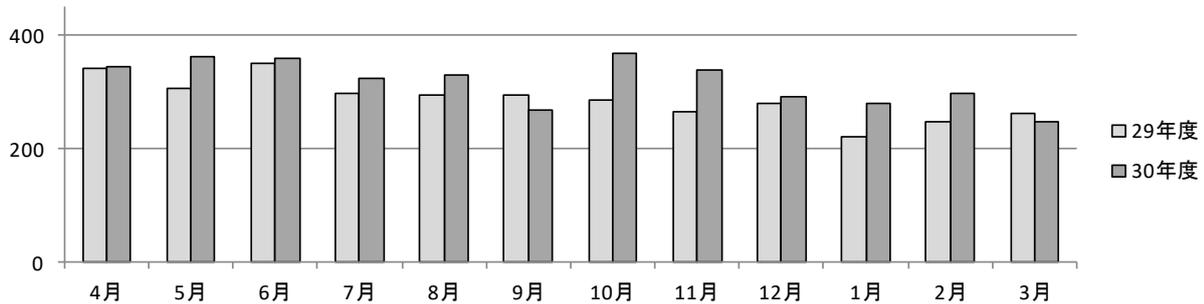


◇生きがいデイサービス事業（受託事業）

東部生きがいデイサービス

単位：人

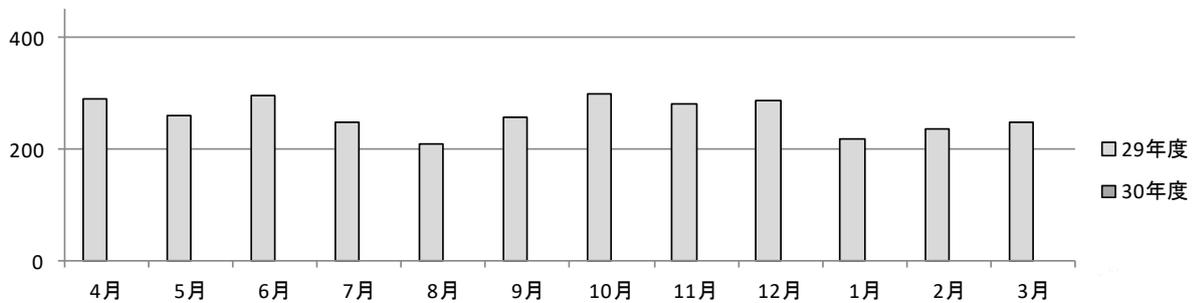
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	342	306	352	298	296	294	285	266	279	222	249	261	3,450
30年度	344	362	361	325	331	269	368	339	292	280	298	247	3,816
差異	2	56	9	27	35	▲ 25	83	73	13	58	49	▲ 14	366



西部生きがいデイサービス

単位：人

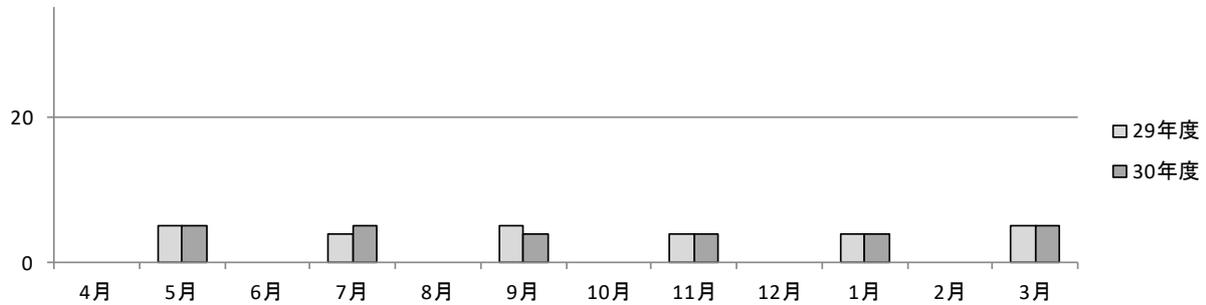
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	289	260	296	249	208	257	298	281	286	219	237	248	3,128
30年度	▲ 289	▲ 260	▲ 296	▲ 249	▲ 208	▲ 257	▲ 298	▲ 281	▲ 286	▲ 219	▲ 237	▲ 248	0
差異	▲ 289	▲ 260	▲ 296	▲ 249	▲ 208	▲ 257	▲ 298	▲ 281	▲ 286	▲ 219	▲ 237	▲ 248	▲ 3,128



◇高齢聴覚障害者生きがいきづくり事業（受託事業）

単位：人

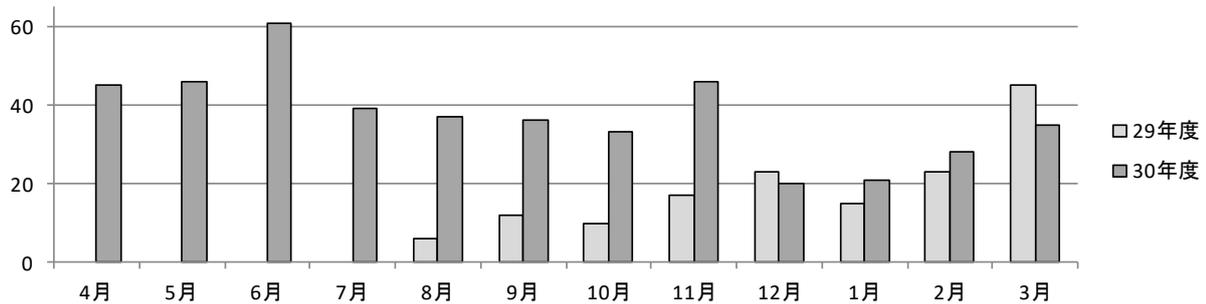
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	/	5	/	4	/	5	/	4	/	4	/	5	27
30年度	/	5	/	5	/	4	/	4	/	4	/	5	27
差異	/	0	/	1	/	▲ 1	/	0	/	0	/	0	0



◇元気アップ広場事業〔介護予防・日常生活支援総合事業〕

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	/	/	/	/	6	12	10	17	23	15	23	45	151
30年度	45	46	61	39	37	36	33	46	20	21	28	35	447
差異	45	46	61	39	31	24	23	29	▲ 3	6	5	▲ 10	296



◇事業所別稼働率

東部ケアマネジメントセンター

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	95.1	99.4	96.7	97.3	97.1	98.6	96.9	95.9	95.1	96.1	95.9	93.7	96.5
30年度	89.4	93.5	95.2	95.4	93.0	92.5	92.5	91.4	91.4	93.5	89.0	87.8	92.1

西部ケアマネジメントセンター

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	103.3	105.5	105.0	104.5	104.5	105.0	104.0	102.4	103.8	101.7	99.5	99.3	103.2
30年度	96.5	96.9	97.8	98.2	97.8	101.8	101.0	98.8	99.2	97.6	93.3	93.3	97.7

南部ケアマネジメントセンター

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	90.0	89.5	92.4	96.2	95.2	99.0	99.0	99.5	96.7	92.4	87.6	85.7	93.6
30年度													

東部デイサービスセンター

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	70.7	77.8	73.7	69.9	63.8	63.0	54.6	56.0	57.8	72.0	78.0	76.5	67.8
30年度	77.3	85.5	81.2	76.0	78.6	73.9	78.4	81.3	78.7	72.9	69.8	65.3	76.6

西部デイサービスセンター

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	68.3	73.5	70.6	75.5	74.5	78.3	73.3	71.4	71.0	68.1	72.9	73.1	72.5
30年度	74.6	75.6	75.4	68.3	73.1	78.3	75.1	71.0	74.9	71.2	73.8	74.3	73.8

いちじま憩いの家

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	58.5	64.4	58.7	52.7	53.1	57.7	47.6	46.6	45.1	39.9	40.3	37.4	50.2
30年度	43.2	40.6	48.6	45.1	38.5	34.8	36.4	41.7	42.8	39.5	41.1	41.1	41.1

東部生きがいデイサービス

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	106.9	100.7	100.0	93.1	84.1	91.9	89.1	83.1	91.8	74.3	77.8	74.1	88.9
30年度	107.5	120.7	102.6	101.6	94.0	85.3	115.0	107.2	96.1	92.1	93.1	70.2	98.8

西部生きがいデイサービス

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	90.3	85.5	84.1	77.8	59.1	80.3	93.1	87.8	94.1	72.0	74.1	70.5	80.7
30年度													

※居宅介護支援事業は対「標準件数（35件）×職員数」

※通所介護事業は対「定員（東部デイ18名、西部デイ30名、憩い11名）×営業日数」

※生きがいデイサービス事業は対「基準利用者（16名）×営業日数」

